

4. 仕事と生活のバランスについて

A 仕事と生活のスタイル

(1) 現在の生活スタイルと理想とする生活スタイル

(1) 現在の生活スタイルと理想とする生活スタイルは何ですか。【○は1つ】

① 現在の生活スタイル

現在の生活スタイルについては、「仕事、家庭・個人生活を両立」が 46.4%と最も高く、次いで「仕事を優先」が 30.2%、「家庭・個人生活を優先」が 19.8%の順となっている。

前回調査との比較では、大きな変化はみられない。

性別でみると、〈男性〉は〈女性〉より「仕事を優先」が 9.4 ポイント高く、〈女性〉は〈男性〉より「家庭・個人生活を優先」が 6.9 ポイント高くなっている。

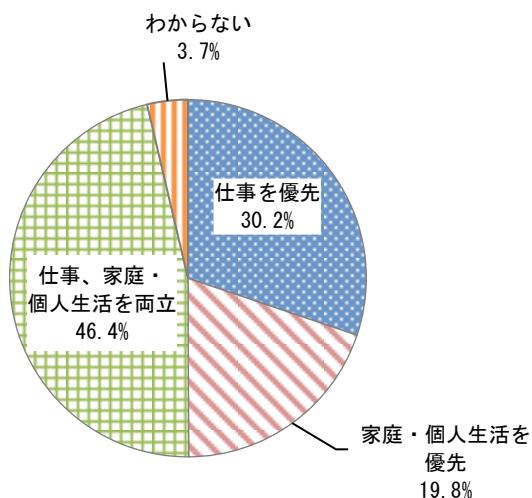
性別・年代別でみると、〈男性〉では〈15～19 歳〉ですべて同率、〈20～24 歳〉で「家庭・個人生活を優先」が、〈40～44 歳〉、〈55～59 歳〉で「仕事を優先」が、それ以外の層では「仕事、家庭・個人生活を両立」が、それぞれ最も高くなっている。

また、〈女性〉では 15～24 歳の層で「仕事を優先」が、25 歳以上の層では「仕事、家庭・個人生活を両立」が、それぞれ最も高くなっている。

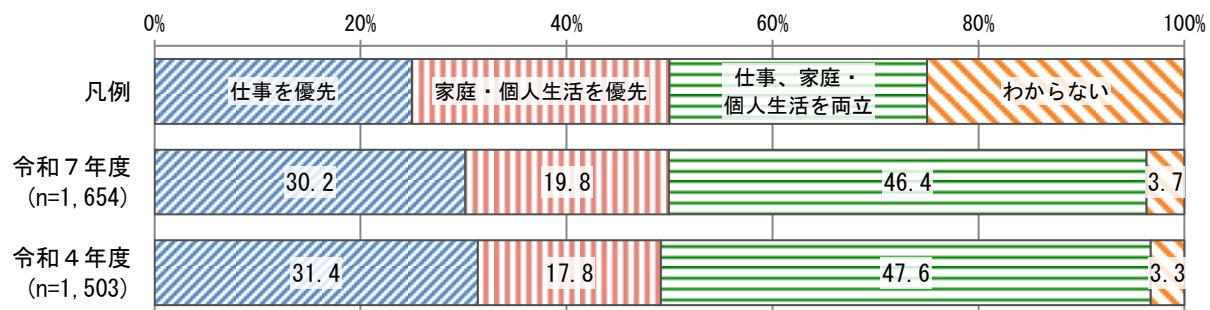
正規・非正規の別でみると、すべての層で「仕事・家庭・個人生活を両立」が最も高くなっている。

また、〈正規〉では「仕事を優先」が 37.8%と他の層より 11 ポイント以上高くなっている。

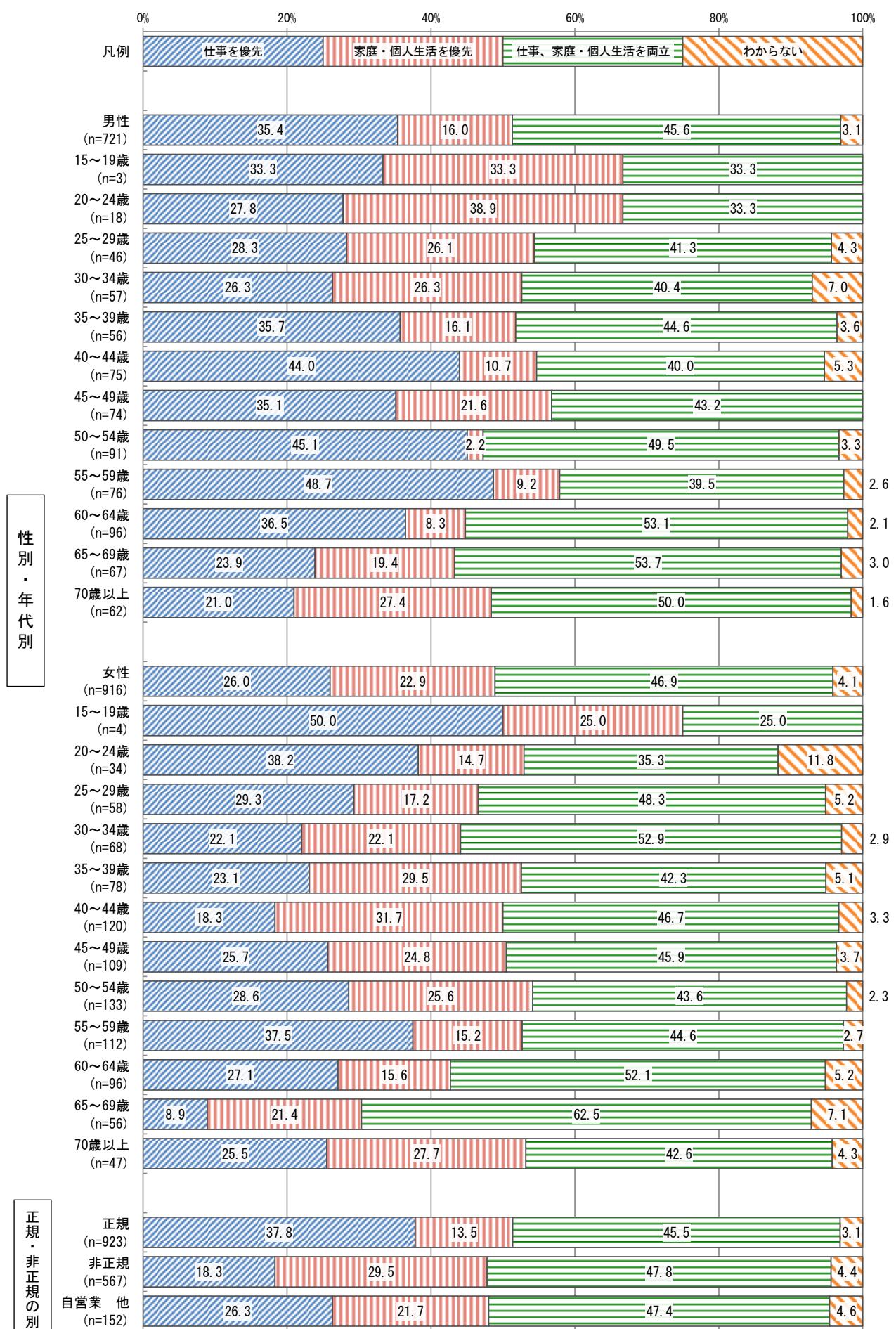
■現在の生活スタイル〔回答数=1,654〕



【前回調査との比較】



【性別・年代別／正規・非正規の別（現在の生活スタイル）】



② 理想とする生活スタイル【○は1つ】

理想とする生活スタイルについては、「仕事、家庭・個人生活を両立」が 61.6%と最も高く、次いで「家庭・個人生活を優先」が 33.4%、「わからない」が 2.6%の順となっている。

前回調査との比較では、大きな変化はみられない。

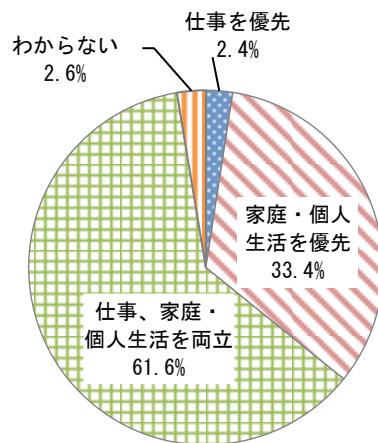
性別でみると、大きな差はみられない。

性別・年代別でみると、〈男性〉の〈30～34 歳〉、〈女性〉の〈15～19 歳〉では「家庭・個人生活を優先」と「仕事、家庭・個人生活を両立」が同率、〈男性〉の〈15～19 歳〉、〈女性〉の〈30～34 歳〉では「家庭・個人生活を優先」が、その他の層では「仕事、家庭・個人生活を両立」が、それぞれ最も高くなっている。

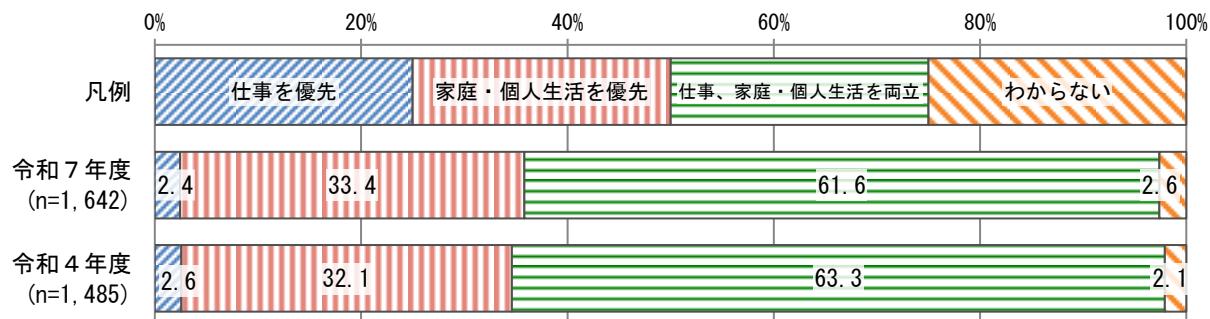
正規・非正規の別でみると、〈自営業 他〉では「仕事、家庭・個人生活を両立」が 68.2%と、他の層より 7 ポイント以上高く、「家庭・個人生活を優先」が 25.2%と他の層より 8 ポイント以上低くなっている。

現在の生活スタイル別でみると、〈家庭・個人生活を優先〉している層で「家庭・個人生活を優先」が、その他の層で「仕事、家庭・個人生活を両立」が、それぞれ最も高くなっている。

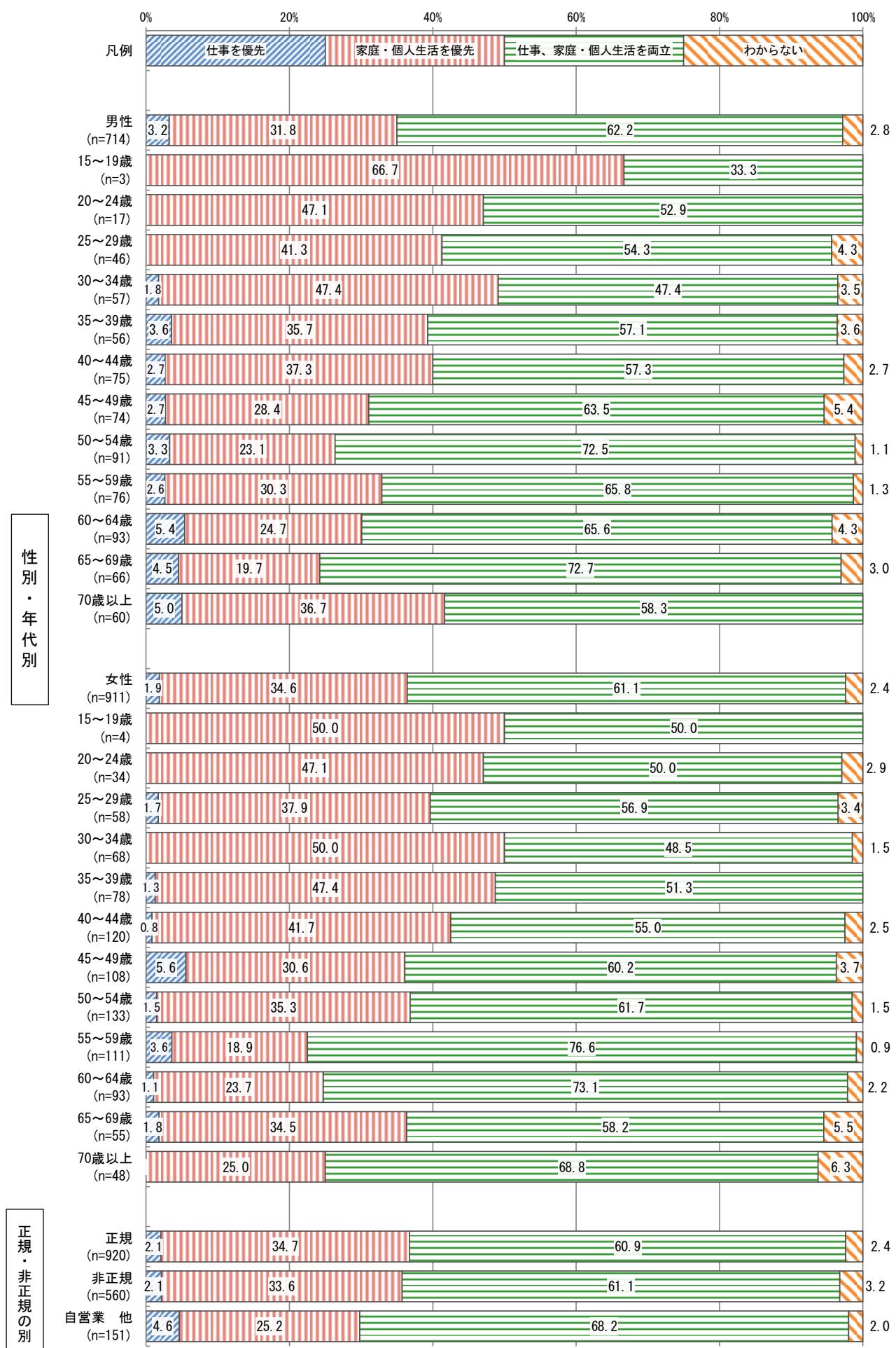
■理想とする生活スタイル [回答数=1,642]



【前回調査との比較】



【性別・年代別／正規・非正規の別（理想とする生活スタイル）】



【現在の生活スタイル別（理想とする生活スタイル）】

※ ■は第1位、■は第2位、■は第3位の項目

上段：回答数 下段：回答割合(%)		合計	仕事を優先	を家庭先・個人生活	人仕事活、を家庭立・個	わからぬ
生活スタイル別	全体	1642	40	548	1011	43
		100%	2.4%	33.4%	61.6%	2.6%
	仕事を優先	498	35	152	299	12
		100%	7.0%	30.5%	60.0%	2.4%
	家庭・個人生活を優先	321	2	197	117	5
		100%	0.6%	61.4%	36.4%	1.6%
	仕事、家庭・個人生活を両立	762	3	183	569	7
		100%	0.4%	24.0%	74.7%	0.9%
	わからない	60	0	16	25	19
		100%	0.0%	26.7%	41.7%	31.7%

(2) 仕事と生活の両立を勧めている職場であるか

(2) あなたの職場は仕事と生活の両立を勧めていると思いますか【○は1つ】

仕事と生活の両立を勧めている職場であるかについては、「ややそう思う」が37.9%と最も高く、次いで「そう思う」が27.7%、「あまり思わない」が19.5%の順となっている。

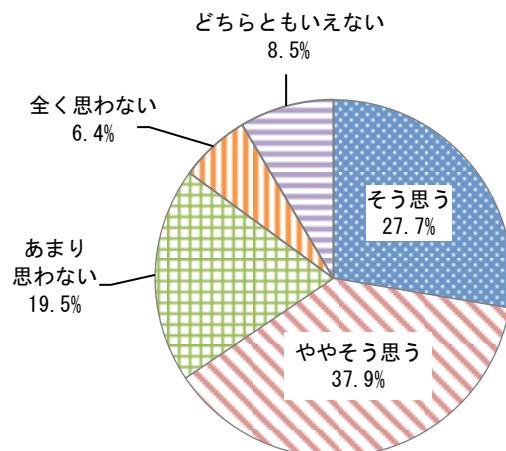
前回調査との比較では、大きな変化はみられない。

性別でみると、〈女性〉は〈男性〉より「そう思う」と「ややそう思う」の割合が上回っている。

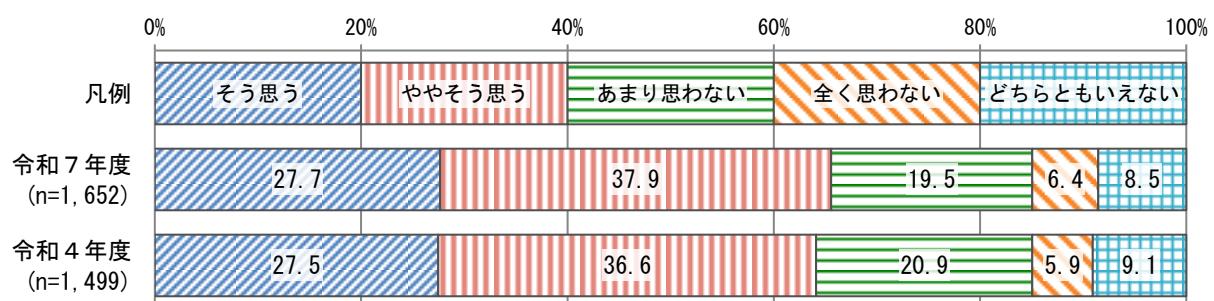
性別・年代別でみると、〈男性〉の〈40~44歳〉では「あまり思わない」と「全く思わない」の合計が43.2%と他の層より高くなっている。

正規・非正規の別でみると「そう思う」について、〈正規〉では22.2%、〈非正規〉では31.7%、〈自営業 他〉では47.3%と、〈自営業 他〉が他の層より15ポイント以上高くなっている。

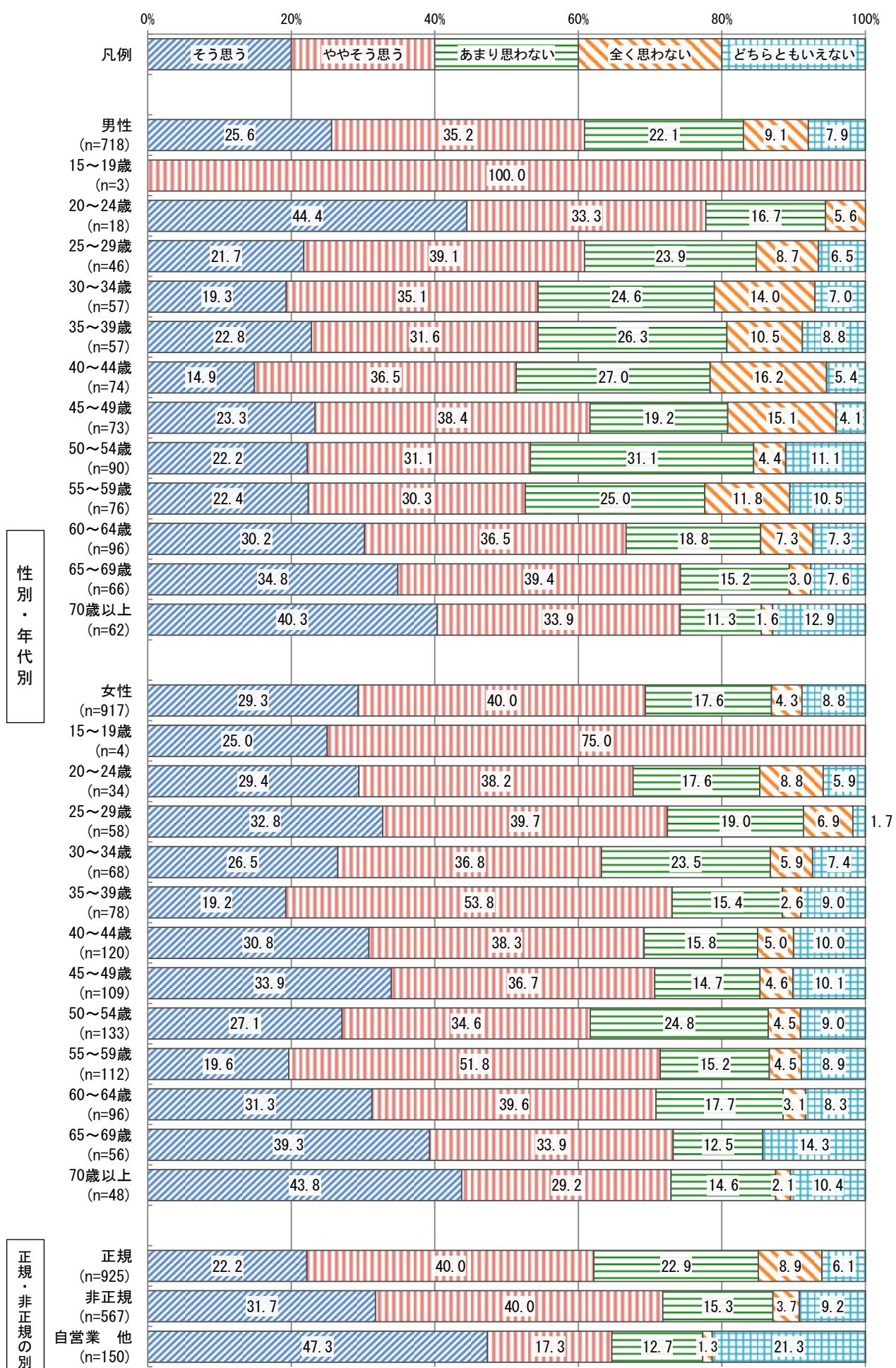
■仕事と生活の両立を勧めている職場か〔回答数=1,652〕



【前回調査との比較】



【性別・年代別／正規・非正規の別（仕事と生活の両立を勧めている職場か）】



(3) 仕事と生活のバランスを図る上で有効だと思う会社の取組

(3) 仕事と生活のバランスを図る上で、有効だと思う会社の取組は何だと思いますか。【○はいくつでも】

仕事と生活のバランスを図る上で有効だと思う会社の取組については、「休みが取りやすい職場環境づくり」が 61.0%と最も高く、次いで「フレックスタイム制など多様で柔軟な働き方」が 38.8%、「時間単位・半日単位の休暇制度」が 27.3%の順となっている。

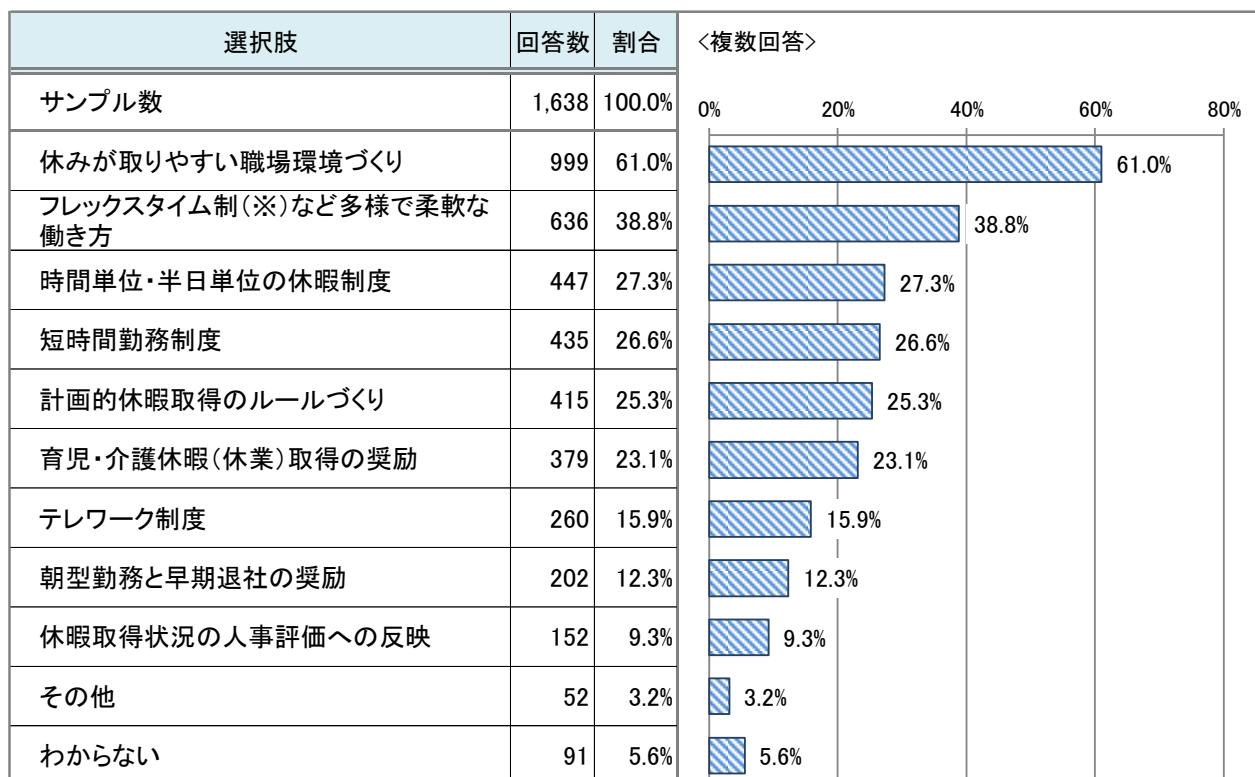
前回調査との比較では、「フレックスタイム制など多様で柔軟な働き方」が 12.9 ポイント増加している。

性別でみると、<男性><女性>ともに「休みが取りやすい職場環境づくり」が最も高く、次いで「フレックスタイム制など多様で柔軟な働き方」の順となっている。

性別・年代別でみると、すべての層で「休みが取りやすい職場環境づくり」が最も高くなっている。

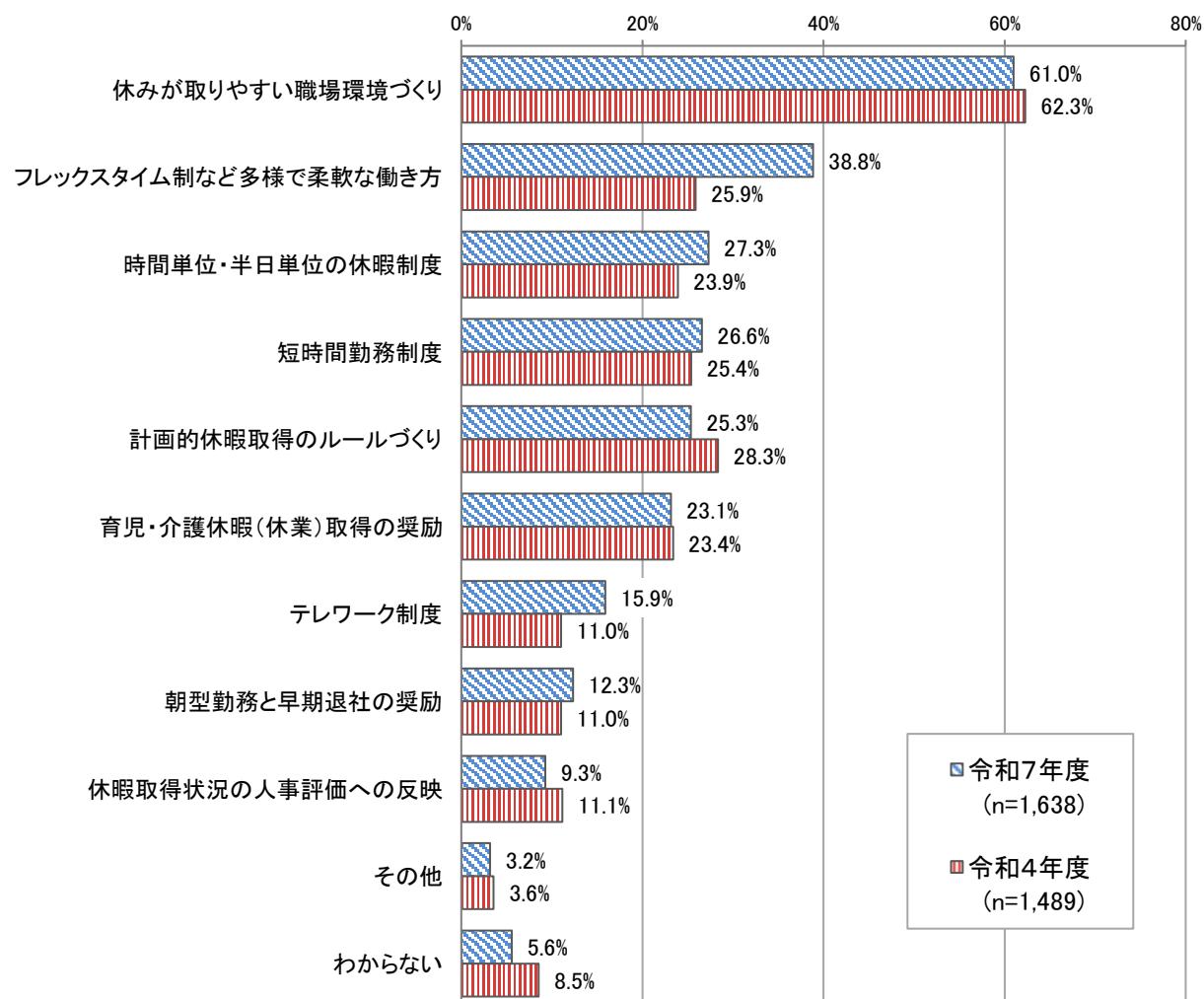
正規・非正規の別でみると、すべての層で「休みが取りやすい職場環境づくり」が最も高くなっているが、<自営業 他>では他の層より 12 ポイント以上低くなっている。

■仕事と生活のバランスを図る上で有効だと思う会社の取組 [回答数 = 1,638]



*フレックスタイム制：就業規則により、労働者が労働時間の始めと終わりを選択する制度

【前回調査との比較】



【性別・年代別／正規・非正規の別(仕事と生活のバランスを図る上で有効だと思う会社の取組)】

※ **■**は第1位、**■**は第2位、**■**は第3位の項目

上段:回答数 下段:回答割合(%)		合計	短時間勤務制度	柔軟フレンチ多様性	の計画的休暇・制限	単時間の単休日	テレワーク制度	映人休事暇評価得点の状況	奨励休業・介護休暇の状況	退朝社型の勤務と早期	りい休職み場が環境取り組み	その他	わからない	
性別・年代別	男性	小計	712	148	264	193	168	111	80	138	103	391	28	46
		100%	20.8%	37.1%	27.1%	23.6%	15.6%	11.2%	19.4%	14.5%	54.9%	3.9%	6.5%	
		15~19歳	3	1	2	1	1	1	0	0	0	3	0	0
		100%	33.3%	66.7%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
		20~24歳	18	6	10	1	4	6	2	2	6	11	1	1
		100%	33.3%	55.6%	5.6%	22.2%	33.3%	11.1%	11.1%	33.3%	61.1%	5.6%	5.6%	
		25~29歳	46	5	20	14	10	9	5	11	10	22	1	2
		100%	10.9%	43.5%	30.4%	21.7%	19.6%	10.9%	23.9%	21.7%	47.8%	2.2%	4.3%	
		30~34歳	56	9	26	16	17	15	8	21	9	31	4	4
		100%	16.1%	46.4%	28.6%	30.4%	26.8%	14.3%	37.5%	16.1%	55.4%	7.1%	7.1%	
		35~39歳	57	17	22	17	16	11	9	18	16	35	1	2
		100%	29.8%	38.6%	29.8%	28.1%	19.3%	15.8%	31.6%	28.1%	61.4%	1.8%	3.5%	
		40~44歳	74	15	32	14	14	12	11	14	14	38	5	1
		100%	20.3%	43.2%	18.9%	18.9%	16.2%	14.9%	18.9%	18.9%	51.4%	6.8%	1.4%	
	女性	45~49歳	74	21	20	20	14	12	8	11	15	43	4	2
		100%	28.4%	27.0%	27.0%	18.9%	16.2%	10.8%	14.9%	20.3%	58.1%	5.4%	2.7%	
		50~54歳	91	15	32	26	24	9	9	15	10	53	5	5
		100%	16.5%	35.2%	28.6%	26.4%	9.9%	9.9%	16.5%	11.0%	58.2%	5.5%	5.5%	
		55~59歳	73	11	28	21	13	11	7	9	6	40	2	10
		100%	15.1%	38.4%	28.8%	17.8%	15.1%	9.6%	12.3%	8.2%	54.8%	2.7%	13.7%	
		60~64歳	95	20	32	32	24	14	9	17	10	52	3	6
		100%	21.1%	33.7%	33.7%	25.3%	14.7%	9.5%	17.9%	10.5%	54.7%	3.2%	6.3%	
		65~69歳	67	17	27	22	16	9	7	11	5	33	2	3
		100%	25.4%	40.3%	32.8%	23.9%	13.4%	10.4%	16.4%	7.5%	49.3%	3.0%	4.5%	
		70歳以上	58	11	13	9	15	2	5	9	2	30	0	10
		100%	19.0%	22.4%	15.5%	25.9%	3.4%	8.6%	15.5%	3.4%	51.7%	0.0%	17.2%	
	性別・年代別	小計	909	284	363	218	276	145	72	237	97	597	24	45
		100%	31.2%	39.9%	24.0%	30.4%	16.0%	7.9%	26.1%	10.7%	65.7%	2.6%	5.0%	
		15~19歳	4	0	1	1	1	0	0	0	0	2	0	1
		100%	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	25.0%	
		20~24歳	34	12	10	14	11	5	3	9	4	23	0	2
		100%	35.3%	29.4%	41.2%	32.4%	14.7%	8.8%	26.5%	11.8%	67.6%	0.0%	5.9%	
		25~29歳	58	19	27	15	17	15	5	26	5	41	1	1
		100%	32.8%	46.6%	25.9%	29.3%	25.9%	8.6%	44.8%	8.6%	70.7%	1.7%	1.7%	
		30~34歳	68	25	31	15	24	13	5	26	9	45	5	3
		100%	36.8%	45.6%	22.1%	35.3%	19.1%	7.4%	38.2%	13.2%	66.2%	7.4%	4.4%	
		35~39歳	76	32	48	18	31	29	9	30	17	50	0	2
		100%	42.1%	63.2%	23.7%	40.8%	38.2%	11.8%	39.5%	22.4%	65.8%	0.0%	2.6%	
		40~44歳	120	49	51	35	40	23	11	38	18	84	6	2
		100%	40.8%	42.5%	29.2%	33.3%	19.2%	9.2%	31.7%	15.0%	70.0%	5.0%	1.7%	
		45~49歳	108	30	46	27	31	13	7	26	12	74	7	7
		100%	27.8%	42.6%	25.0%	28.7%	12.0%	6.5%	24.1%	11.1%	68.5%	6.5%	6.5%	
		50~54歳	132	37	58	28	46	23	10	25	14	84	1	5
		100%	28.0%	43.9%	21.2%	34.8%	17.4%	7.6%	18.9%	10.6%	63.6%	0.8%	3.8%	
		55~59歳	112	27	40	27	34	11	8	21	8	74	1	4
		100%	24.1%	35.7%	24.1%	30.4%	9.8%	7.1%	18.8%	7.1%	66.1%	0.9%	3.6%	
		60~64歳	95	21	33	22	23	8	8	18	6	64	1	4
		100%	22.1%	34.7%	23.2%	24.2%	8.4%	8.4%	18.9%	6.3%	67.4%	1.1%	4.2%	
		65~69歳	55	15	11	9	9	3	3	11	2	30	1	8
		100%	27.3%	20.0%	16.4%	16.4%	5.5%	5.5%	20.0%	3.6%	54.5%	1.8%	14.5%	
		70歳以上	46	17	6	7	9	2	3	7	2	26	1	6
		100%	37.0%	13.0%	15.2%	19.6%	4.3%	6.5%	15.2%	4.3%	56.5%	2.2%	13.0%	
非正規規の別	正規	919	223	383	259	276	167	102	234	133	569	37	35	
	正規	100%	24.3%	41.7%	28.2%	30.0%	18.2%	11.1%	25.5%	14.5%	61.9%	4.0%	3.8%	
	非正規	561	181	204	132	149	75	40	117	50	351	6	33	
非正規規の別	自営業他	149	30	48	23	22	18	10	26	19	74	9	21	
	自営業他	100%	20.1%	32.2%	15.4%	14.8%	12.1%	6.7%	17.4%	12.8%	49.7%	6.0%	14.1%	

B 労働時間について

(1) 1日の勤務時間

(1) 1日の所定勤務時間はおおむね何時間ですか（※休憩時間を除く）。【○は1つ】

1日の勤務時間については、「8時間以上」が52.1%と最も高く、次いで「7時間」が24.1%、「6時間」が8.0%の順となっている。

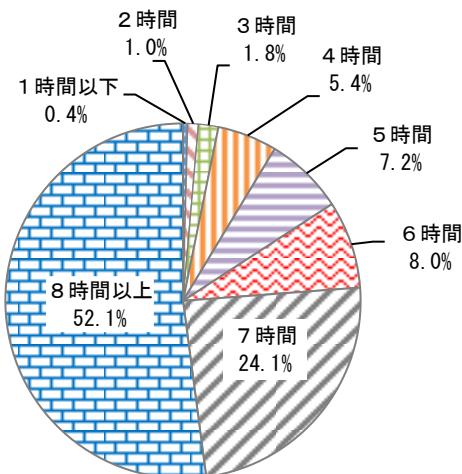
前回調査との比較では、大きな変化はみられない。

性別でみると、〈男性〉は〈女性〉より「8時間以上」について23.5ポイント高くなっている。

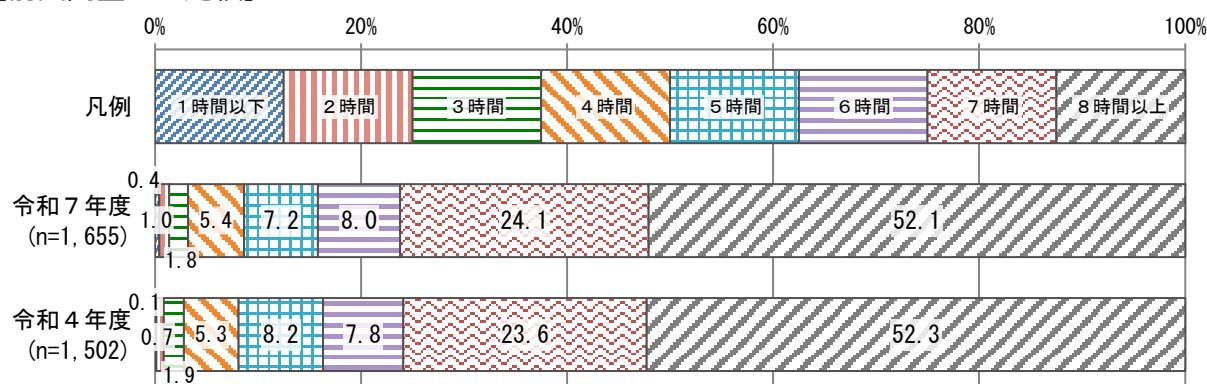
性別・年代別でみると、〈男性〉の20～49歳と55～64歳の層で「8時間以上」が7～8割となっている。

正規・非正規の別でみると、〈正規〉では「8時間以上」が71.5%と最も高く、他の層より35ポイント以上高くなっている。

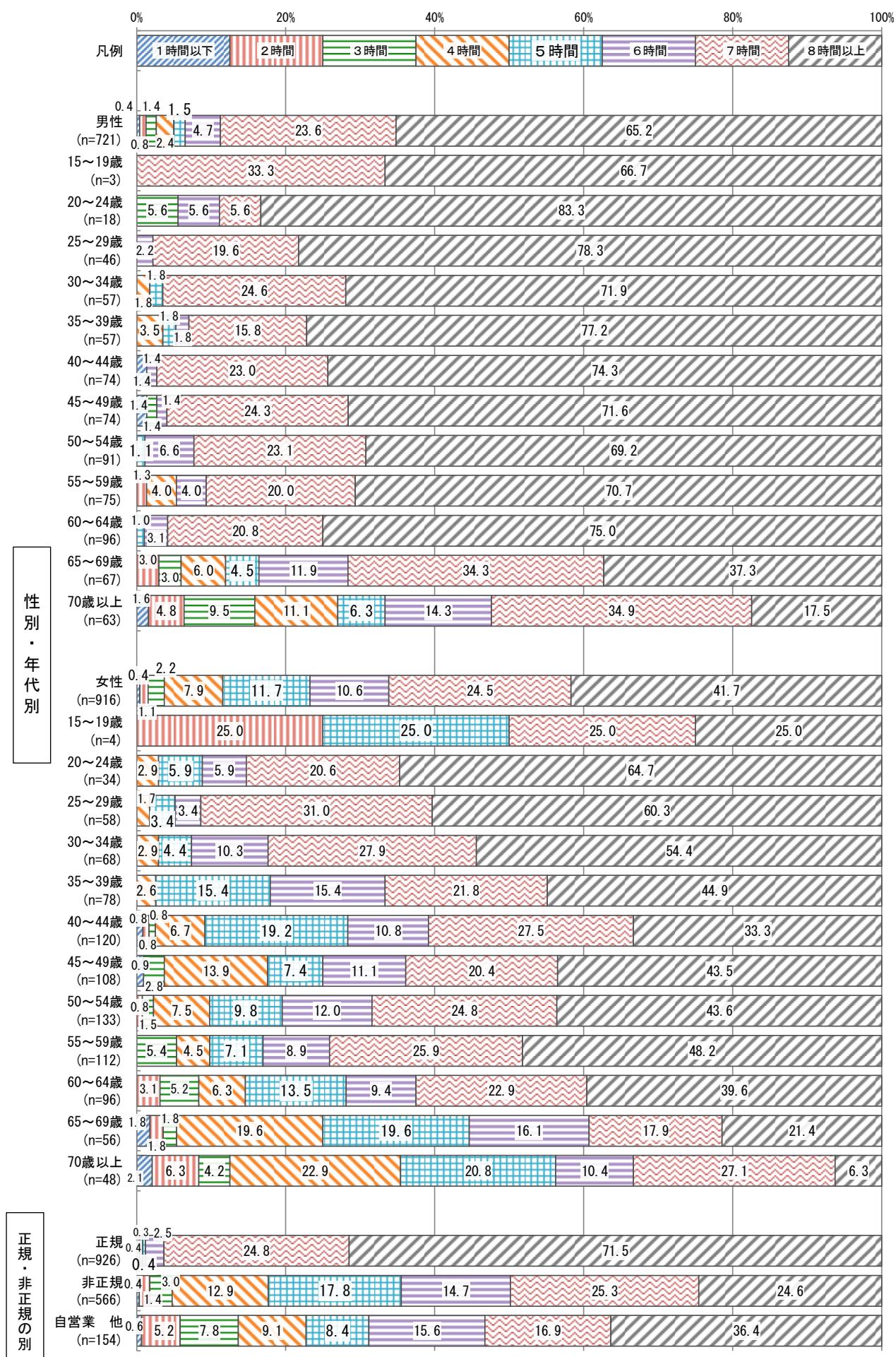
■ 1日の勤務時間〔回答数=1,655〕



【前回調査との比較】



【性別・年代別／正規・非正規の別 ((1) 1日の勤務時間)】



(2) 時間外労働

(2) 時間外労働（残業）をすることがありますか。【○は1つ】

①時間外労働の有無

時間外労働については、「ある」が 54.2%、「ない」が 45.8%となっている。

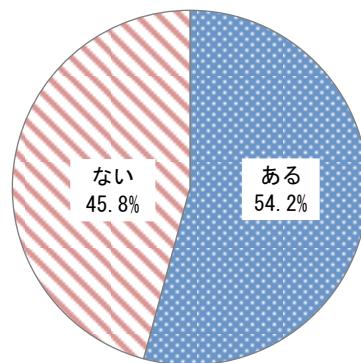
前回調査との比較では、「ある」が 6.4 ポイント減少している。

性別でみると、「ある」の割合が〈男性〉で 61.6%、〈女性〉で 48.4% と、〈男性〉が〈女性〉より 13.2 ポイント高くなっている。

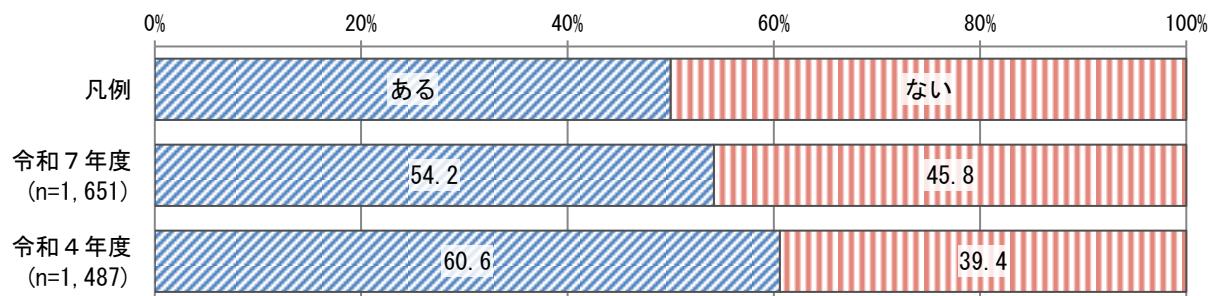
性別・年代別でみると、〈男性〉の 59 歳以下の層と〈女性〉の 20~34 歳の層で「ある」について 6 ~ 8 割台となっている。

正規・非正規の別でみると、〈正規〉では「ある」が 72.4% と、他の層と比較して 40 ポイント以上高くなっている。

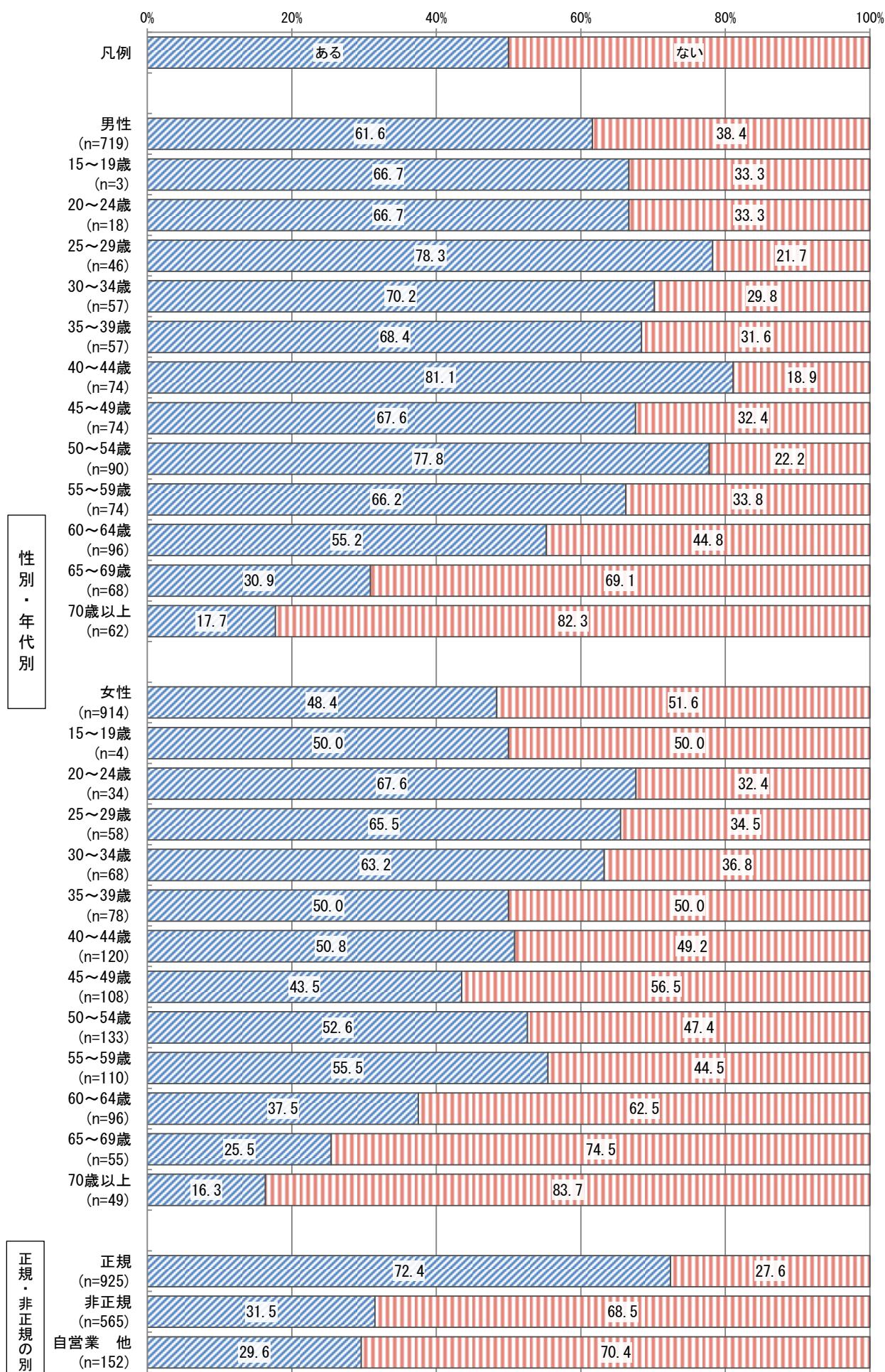
■時間外労働〔回答数 = 1,651〕



【前回調査との比較】



【性別・年代別／正規・非正規の別（時間外労働）】



② 1か月平均の時間外労働時間

1か月平均の時間外労働時間については、「10時間未満」が36.3%と最も高く、次いで「10時間以上20時間未満」が25.1%、「20時間以上30時間未満」が15.6%の順となっている。

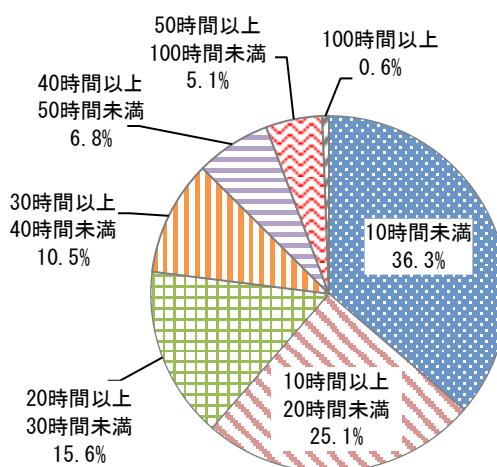
前回調査との比較では、大きな変化は見られない。

性別でみると、〈男性〉〈女性〉ともに「10時間未満」が最も高くなっているが、〈女性〉では49.6%、〈男性〉では23.3%と、〈女性〉が〈男性〉より26.3ポイント高くなっている。

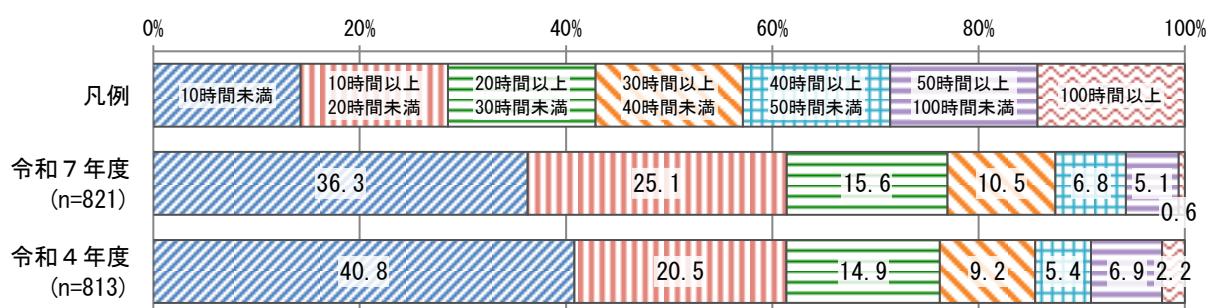
性別・年代別でみると、「10時間未満」について〈男性〉の15～64歳の層では3割未満、〈女性〉ではすべての層で3割以上となっている。

正規・非正規の別でみると、〈非正規〉は「10時間未満」が63.2%と、他の層より31ポイント以上高くなっている。

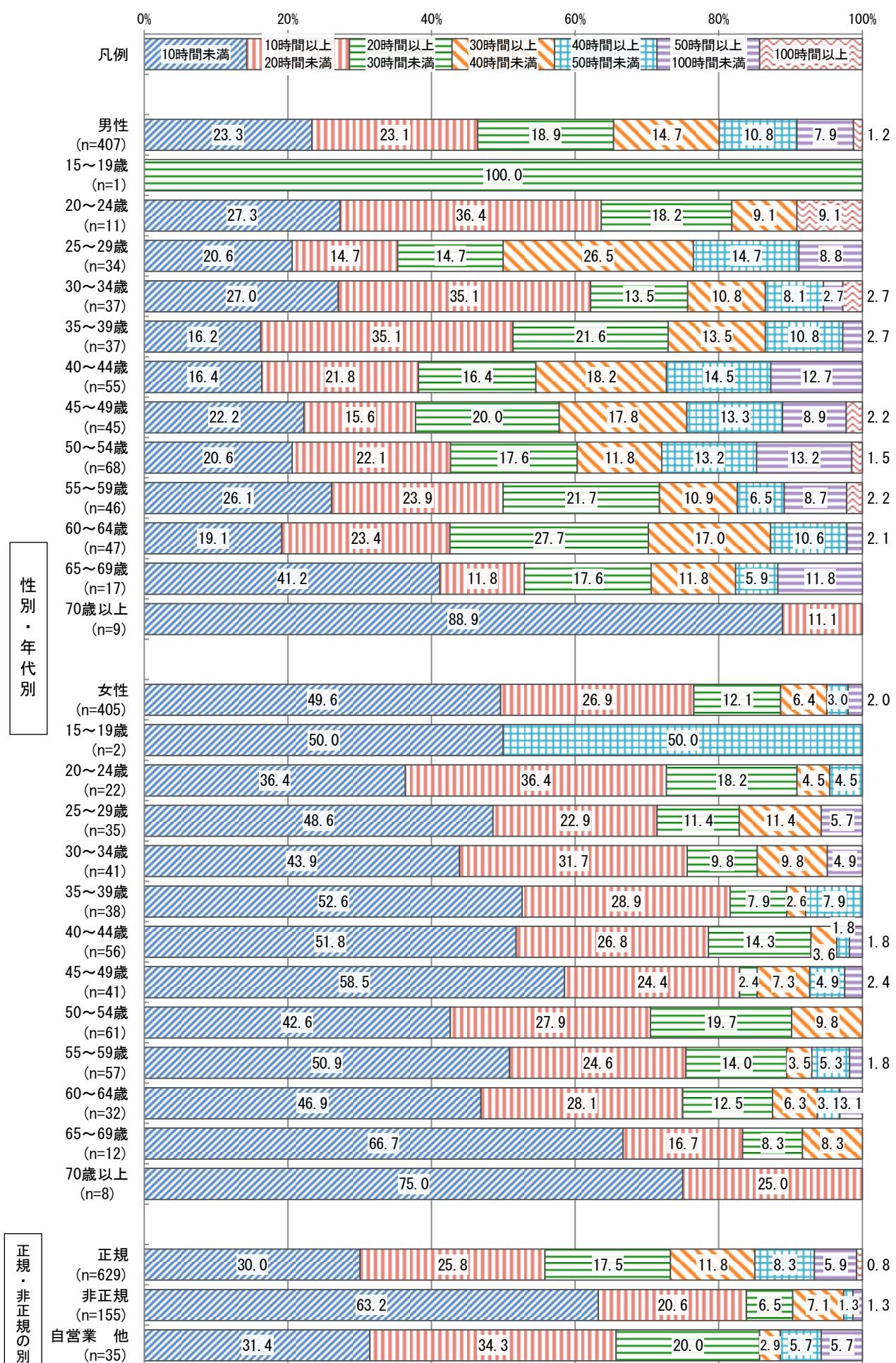
■ 1か月平均の時間外労働時間 [回答数=821]



【前回調査との比較】



【性別・年代別／正規・非正規の別（1か月平均の時間外労働時間）】



(3) 時間外労働が発生する一番の原因

(3) 時間外労働が発生する一番の原因は何だと思いますか。【○は1つ】

時間外労働が発生する一番の原因については、「仕事量が多い」が40.2%と最も高く、次いで「人手不足」が28.3%、「その他」が11.4%の順となっている。

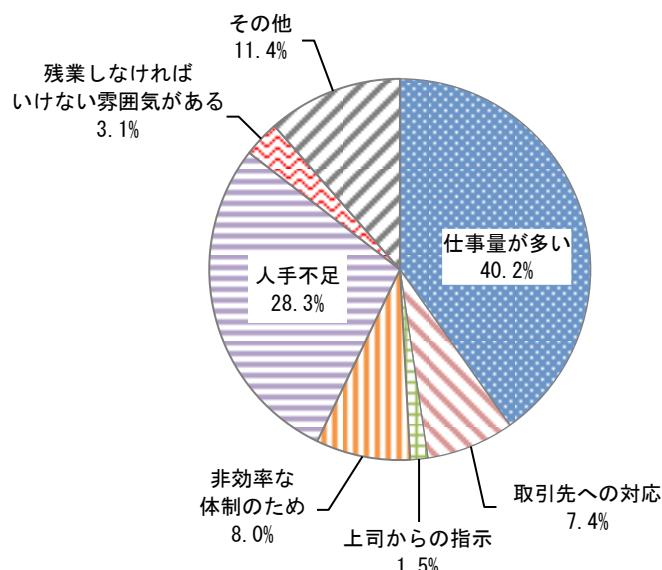
前回調査との比較では、大きな変化はみられない。

性別でみると、〈男性〉〈女性〉ともに「仕事量が多い」が最も高く、次いで「人手不足」となっている。

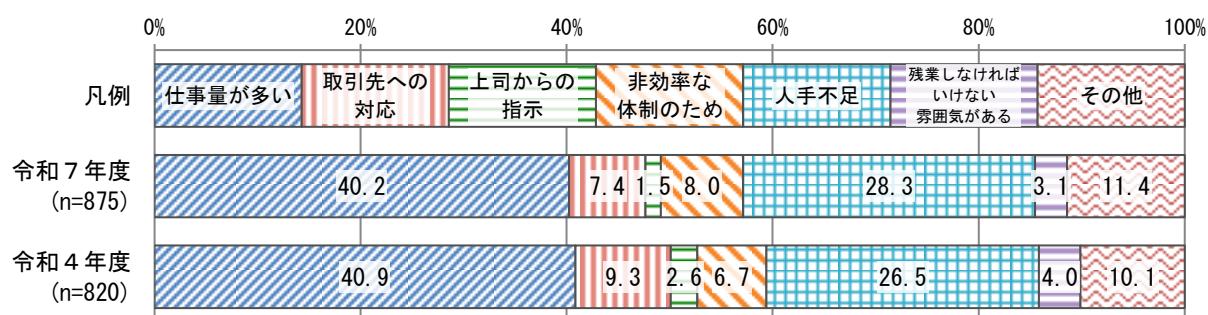
性別・年代別でみると、〈女性〉の〈20～24歳〉の層で「人手不足」が69.6%となっており、他の層より23ポイント以上高くなっている。

正規・非正規の別でみると、〈自営業 他〉では「取引先への対応」が22.5%と、他の層より14ポイント以上高くなっている。

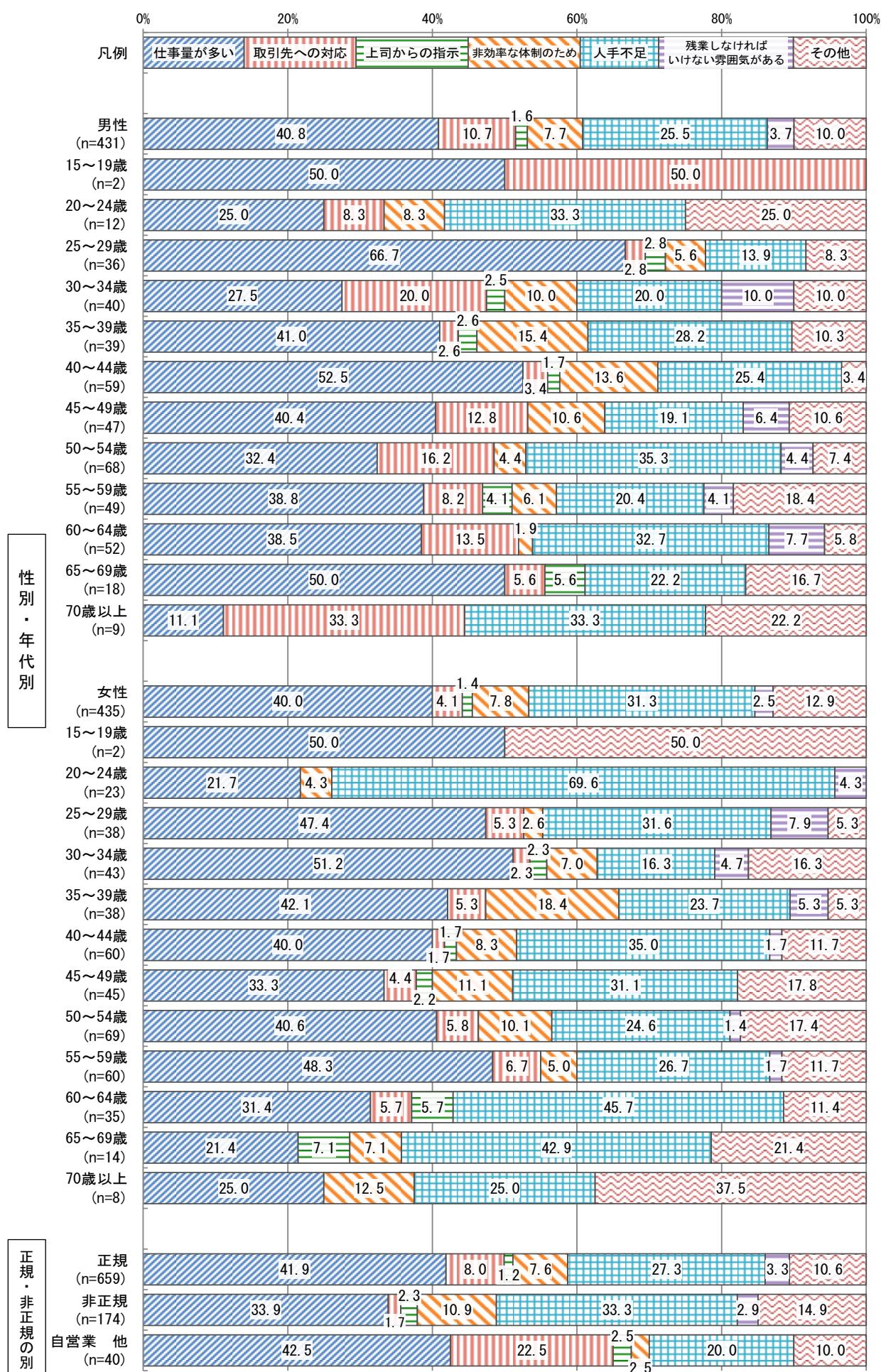
■時間外労働が発生する一番の原因〔回答数=875〕



【前回調査との比較】



【性別・年代別／正規・非正規の別（時間外労働が発生する一番の原因）】



(4) 時間外労働削減のために有効だと思う手段

(4) 時間外労働削減のために有効だと思う手段は何だと思いますか。【○はいくつでも】

時間外労働削減のために有効だと思う手段については、「人員の増員」が 56.0%と最も高く、次いで「職場内での業務分担」が 34.4%、「IT 化の推進など業務の効率化」が 20.3%の順となっている。

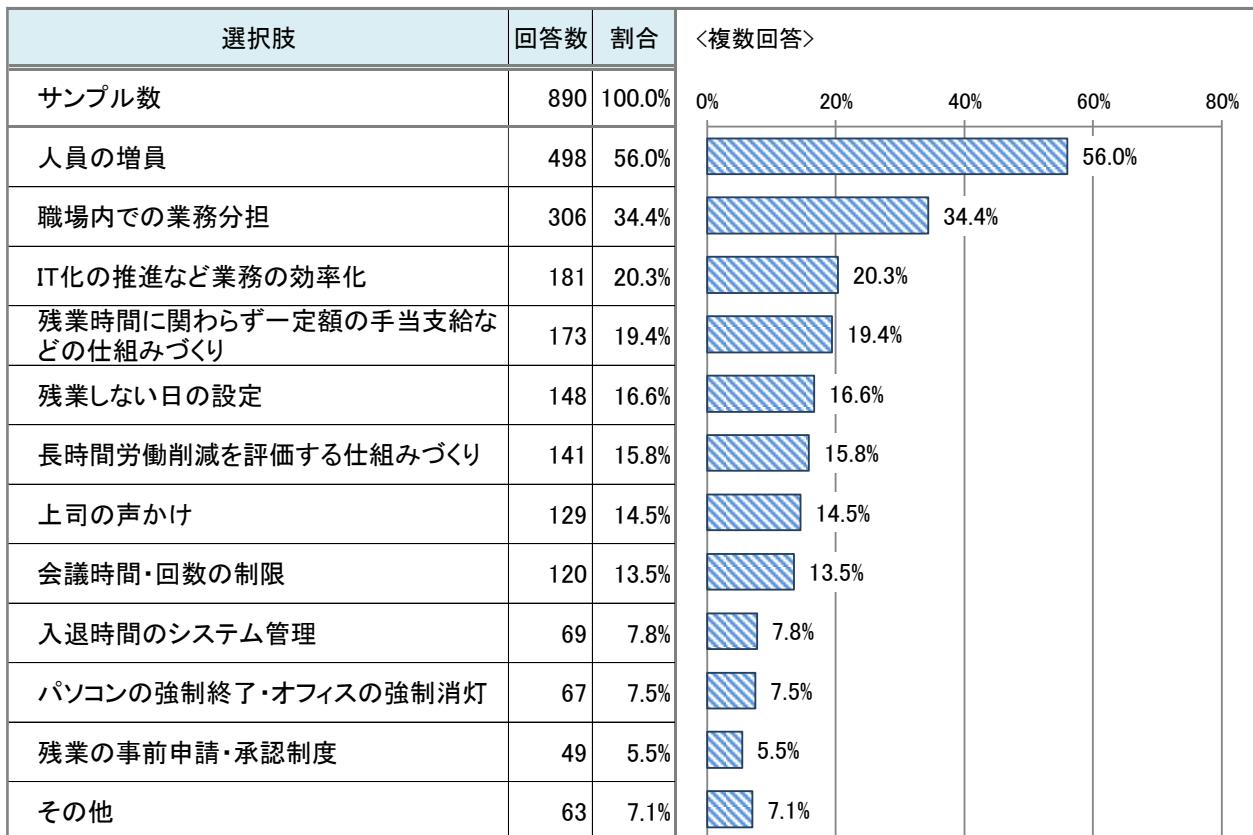
前回調査との比較では、「IT 化の推進など業務の効率化」が 6.0 ポイント、「残業時間に関わらず一定額の手当支給などの仕組みづくり」が 5.4 ポイント、それぞれ増加している。

性別でみると、〈男性〉〈女性〉ともに「人員の増員」が最も高くなっている。

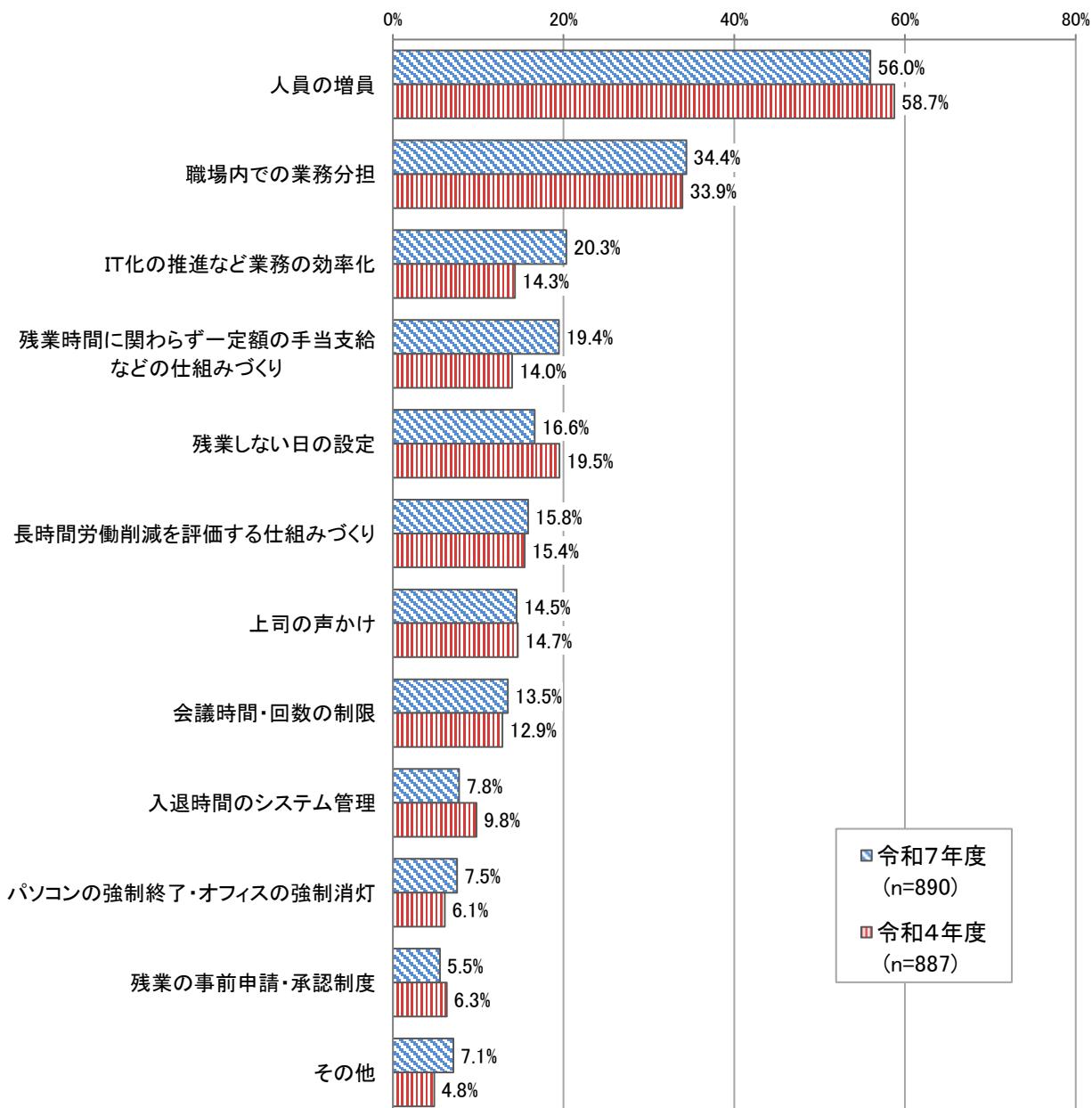
また、〈女性〉は〈男性〉より「職場内での業務分担」について 12 ポイント以上高くなっている。

正規・非正規の別でみると、すべての層で「人員の増員」が最も高くなっている。

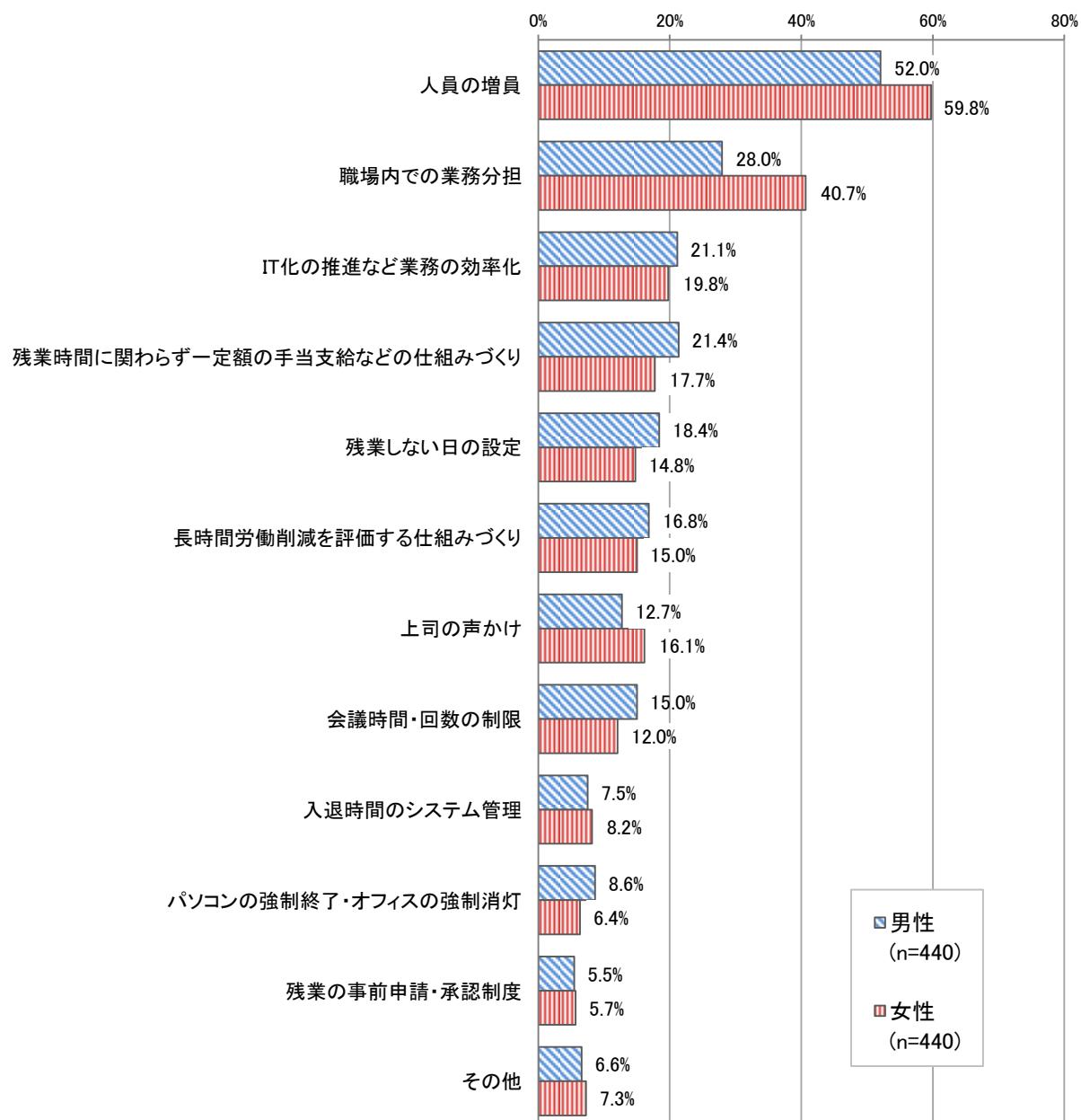
■ 時間外労働削減のために有効だと思う手段【回答数 = 890】



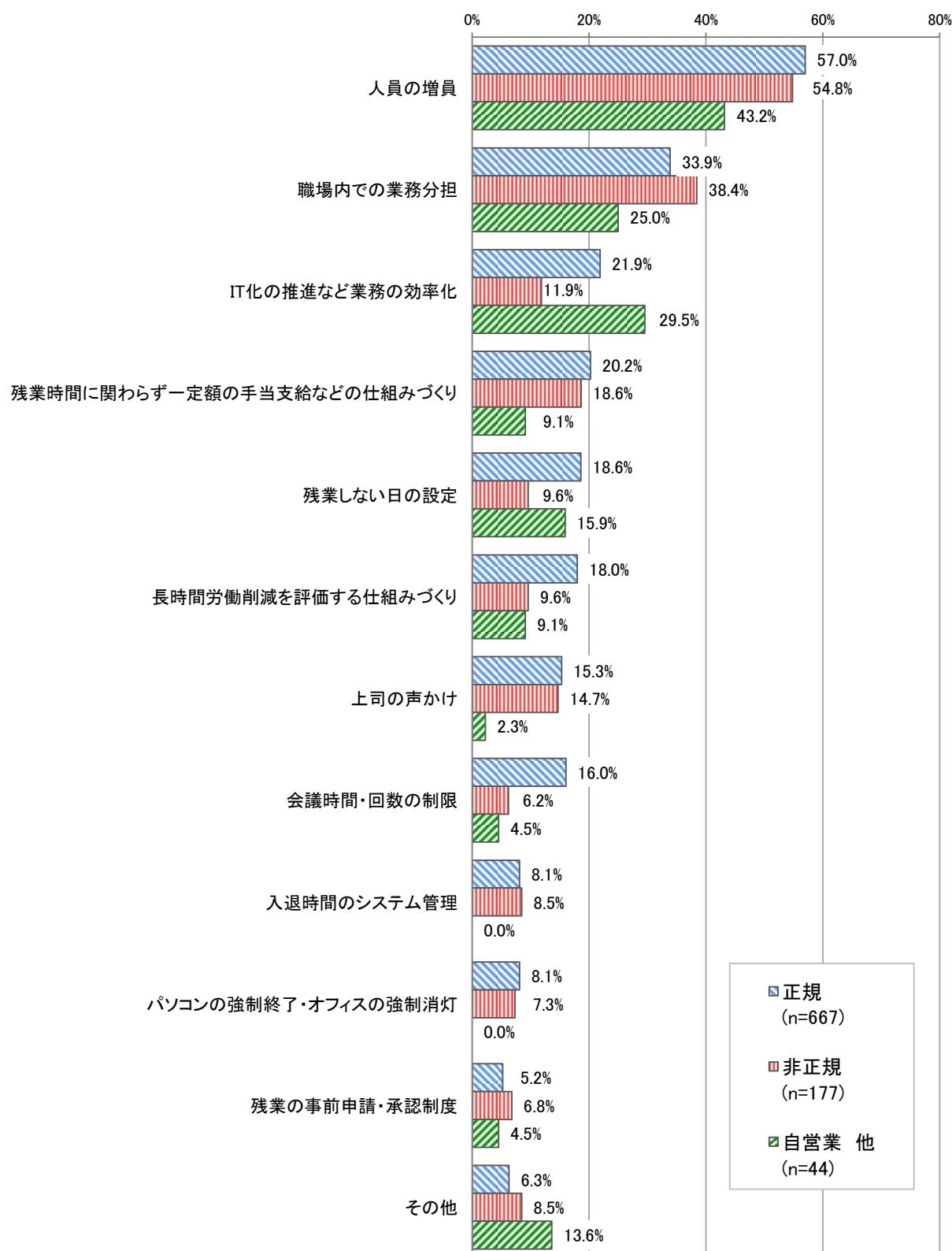
【前回調査との比較】



【性別（時間外労働削減のために有効だと思う手段）】



【正規・非正規の別（時間外労働削減のために有効だと思う手段）】



C 有給休暇について

(1) 有給休暇の取得状況

(1) 有給休暇の取得状況についてどのように感じますか。【○は1つ】

有給休暇の取得状況については、「十分に取得できている」が47.5%と最も高く、次いで「取得できているが不十分」が33.4%、「取得できていない」が10.5%の順となっている。

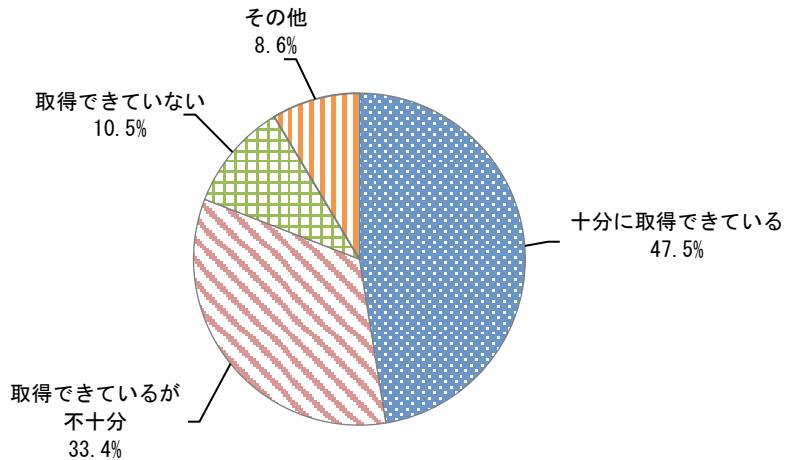
前回調査との比較では、「十分に取得できている」が7.5ポイント増加している。

性別でみると、〈男性〉〈女性〉ともに「十分に取得できている」が最も高くなっている。

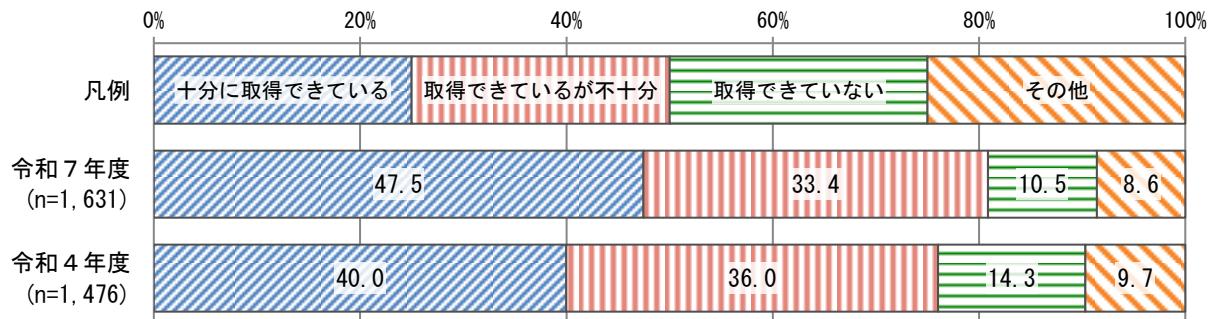
性別・年代別でみると、〈男性〉の〈55～59歳〉で「十分に取得できている」が27.6%と他の層と比較して5ポイント以上低くなっている。

正規・非正規の別でみると、「十分に取得できている」と「取得できているが不十分」の合計について、〈正規〉では86.3%、〈非正規〉では81.4%、〈自営業 他〉では44.4%と、〈自営業 他〉が他の層より37ポイント以上低くなっている。

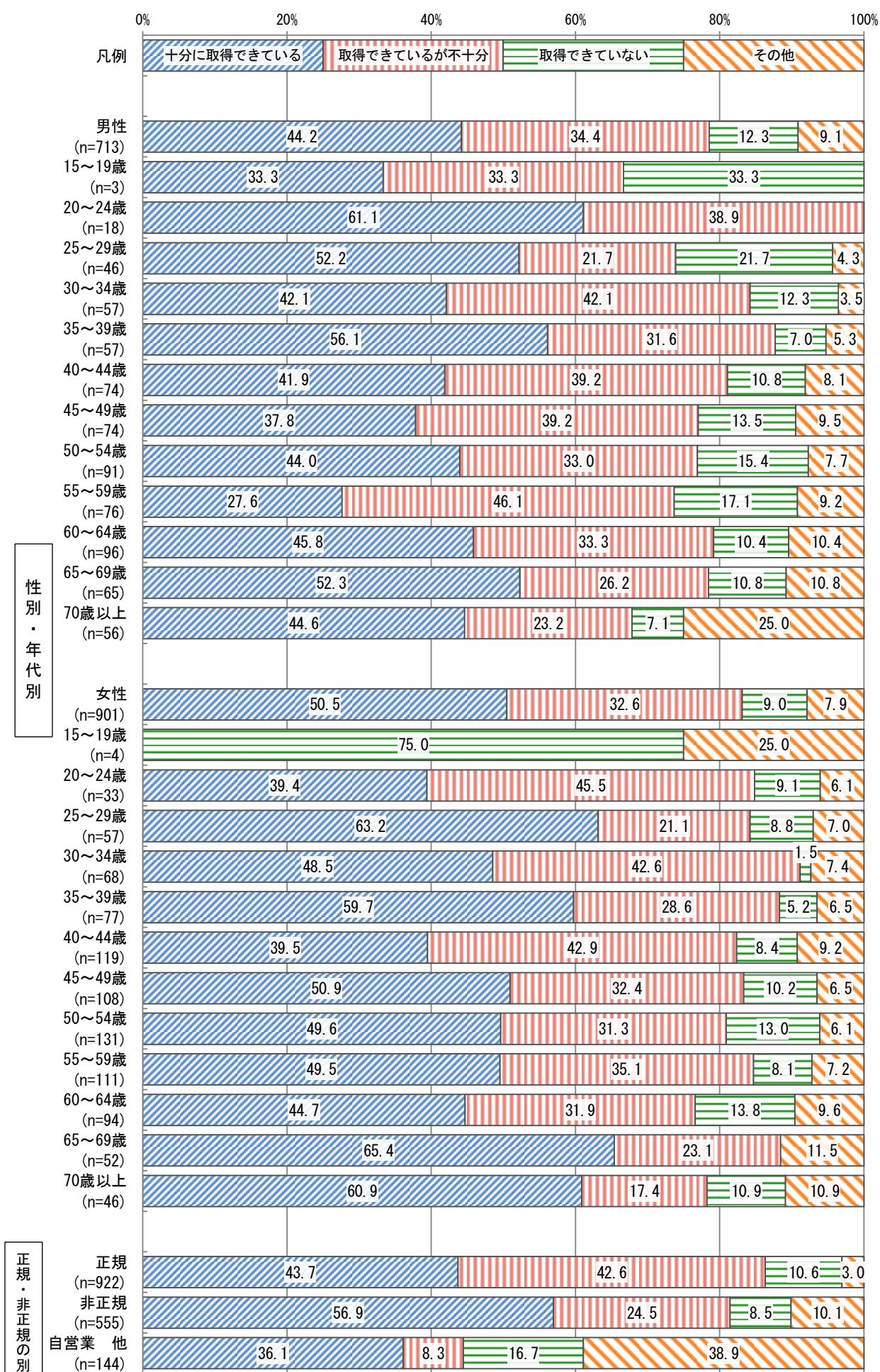
■有給休暇の取得状況（回答数=1,631）



【前回調査との比較】



【性別・年代別／正規・非正規の別（有給休暇の取得状況）】



(2) 有給休暇の取得率向上のために有効だと思う手段

(2) 有給休暇取得率向上のために有効だと思う手段は何だと思いますか。【○はいくつでも】

有給休暇の取得率向上のために有効だと思う手段については、「人員の増員」が 43.9%と最も高く、次いで「計画的休暇取得のルールづくり」が 37.8%、「経営者や上司による休暇取得の勧め」が 36.1%の順となっている。

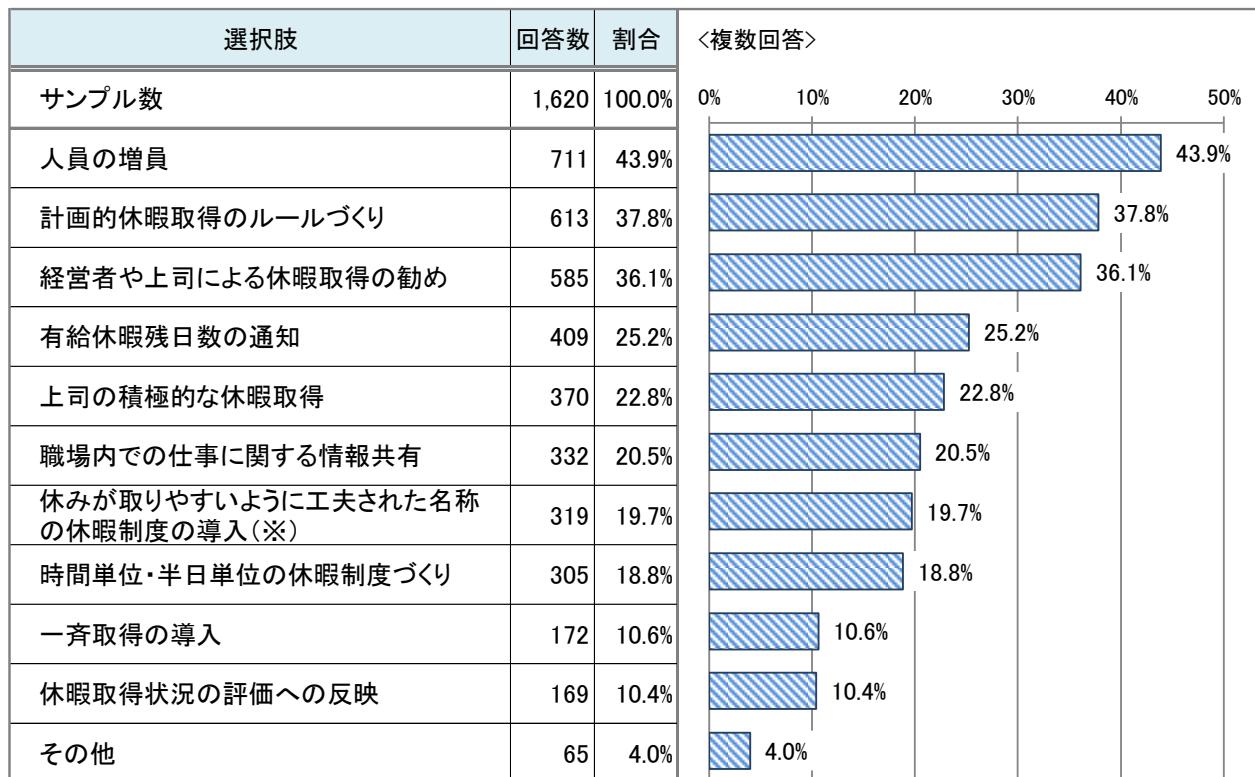
前回調査との比較では、大きな変化はみられない。

性別でみると、〈男性〉〈女性〉ともに「人員の増員」が最も高く、次いで「計画的休暇取得のルールづくり」、「経営者や上司による休暇取得の勧め」の順となっている。

性別・年代別でみると、〈男性〉の 15~24 歳を除くすべての層で「人員の増員」が上位 2 位以内となっている。

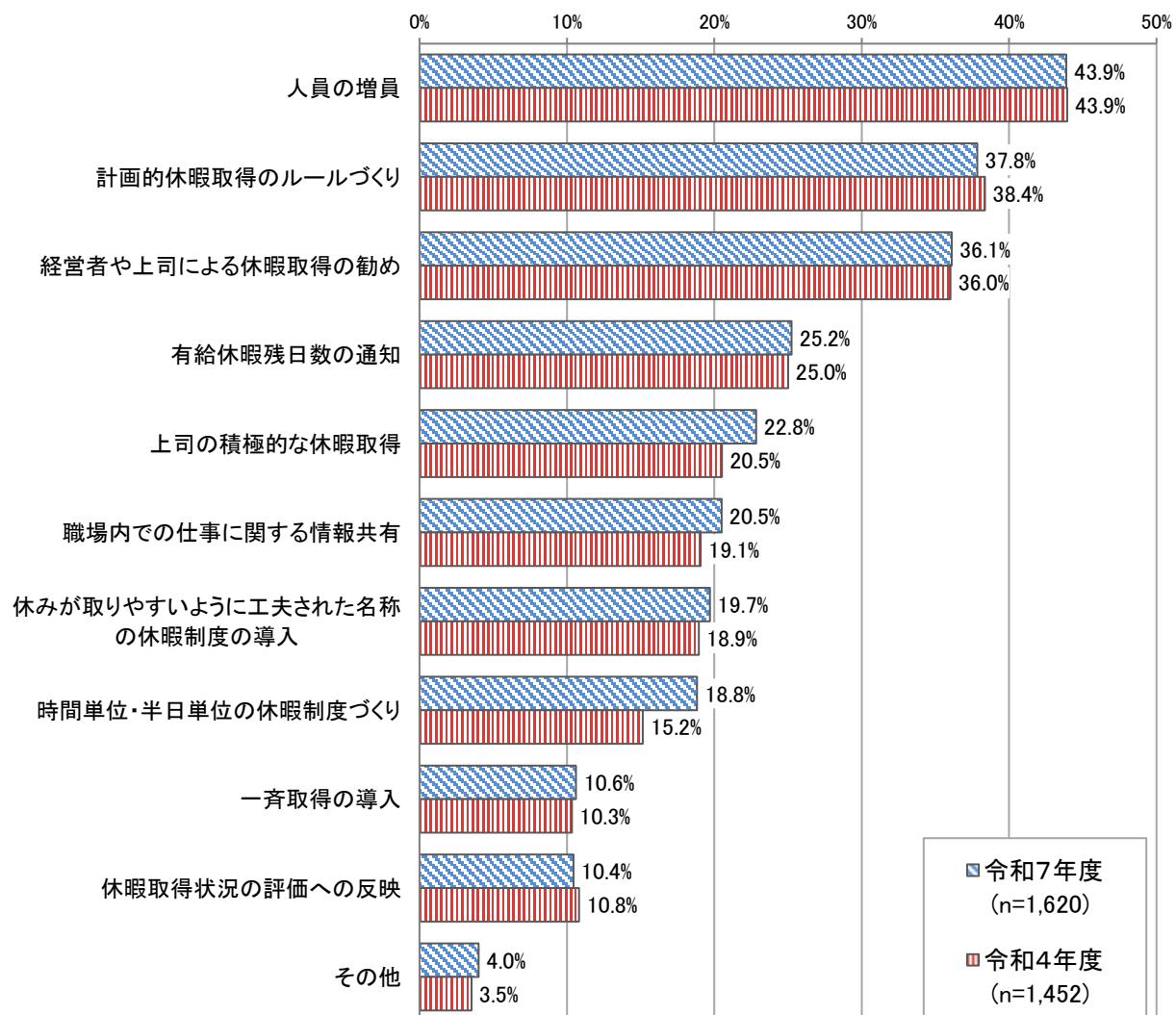
正規・非正規の別でみると、〈正規〉、〈非正規〉で「人員の増員」が、〈自営業 他〉で「計画的休暇取得のルールづくり」が、それぞれ最も高くなっている。

■有給休暇の取得率向上のために有効だと思う手段 [回答数 = 1,620]



※例えば、アニバーサリー休暇、ファミリー休暇、ボランティア休暇など

【前回調査との比較】



【性別・年代別／正規・非正規の別（有給休暇の取得率向上のために有効だと思う手段）】

※ ■は第1位、■は第2位、■は第3位の項目

上段：回答数 下段：回答割合(%)		合計	ルート づ く的 り 休 暇 取 得 の ル ー	計 画 的 に 休 暇 取 得 の 上 司 の 積 極 的 な 休 暇 取 得 状 況 の 評 価 へ	得 上 司 の 積 極 的 な 休 暇 取 得 状 況 の 評 価 へ	暇 経 営 者 の や 勤 上 め 司 に よ る 休 暇 取 得 状 況 の 評 価 へ	の休 暇 反 映 取 得 状 況 の 評 価 へ	る職 場 報 内 共 で 有 の 仕 事 に 関 す	有 給 休 暇 残 日 数 の 通 知	人 員 の 増 員	休 時 間 制 度 単 位 づ ・ く 半 日 单 位 の	暇 に 休 制 工 み 度 夫 が の さ 取 導 れ り 入 た や 名 す 称 い の 休 う	一 斉 取 得 の 導 入	そ の 他
男性		703	279	256	166	85	131	146	297	114	124	82	29	
性別・年代別		100%	39.7%	36.4%	23.6%	12.1%	18.6%	20.8%	42.2%	16.2%	17.6%	11.7%	4.1%	
15～19歳		3	1	2	0	0	0	0	1	2	2	1	0	
20～24歳		18	6	8	4	2	4	6	3	1	0	5	0	
25～29歳		45	19	17	15	4	5	12	20	4	7	3	0	
30～34歳		56	24	27	20	9	12	11	30	14	17	9	5	
35～39歳		57	23	23	14	7	13	11	24	6	9	4	2	
40～44歳		74	19	29	25	14	15	6	44	12	9	11	3	
45～49歳		74	26	30	18	16	14	19	28	14	17	9	8	
50～54歳		91	41	31	27	13	15	18	36	15	14	19	2	
55～59歳		74	25	25	17	6	13	19	33	8	13	6	3	
60～64歳		95	51	29	12	7	19	19	38	14	21	9	3	
65～69歳		64	26	20	10	5	13	16	23	14	6	4	1	
70歳以上		52	18	15	4	2	8	9	17	10	9	2	2	
女性		100%	34.6%	28.8%	7.7%	3.8%	15.4%	17.3%	32.7%	19.2%	17.3%	3.8%	3.8%	
性別・年代別		901	329	320	198	84	196	258	406	188	192	86	34	
15～19歳		100%	36.5%	35.5%	22.0%	9.3%	21.8%	28.6%	45.1%	20.9%	21.3%	9.5%	3.8%	
20～24歳		33	12	14	10	2	4	8	20	5	9	2	1	
25～29歳		57	24	24	20	10	12	14	33	9	17	5	1	
30～34歳		68	24	31	21	8	14	21	35	19	15	5	2	
35～39歳		78	30	30	21	8	18	26	31	27	21	9	0	
40～44歳		119	42	48	29	12	34	28	51	25	18	21	8	
45～49歳		108	35	42	25	10	23	32	46	22	29	9	7	
50～54歳		130	50	46	27	13	29	33	60	29	28	9	5	
55～59歳		110	41	36	18	10	28	30	54	19	21	13	1	
60～64歳		95	40	24	17	8	16	28	35	17	17	6	3	
65～69歳		54	16	12	7	2	13	23	24	9	8	2	3	
70歳以上		44	14	11	1	1	5	14	15	7	7	4	2	
非正規の別		100%	31.8%	25.0%	2.3%	2.3%	11.4%	31.8%	34.1%	15.9%	15.9%	9.1%	4.5%	
正規		920	366	344	246	122	184	196	450	174	202	126	35	
非正規		100%	39.8%	37.4%	26.7%	13.3%	20.0%	21.3%	48.9%	18.9%	22.0%	13.7%	3.8%	
自営業他		141	56	47	15	6	27	28	35	18	16	14	14	
100%		39.7%	33.3%	10.6%	4.3%	19.1%	19.9%	24.8%	12.8%	11.3%	9.9%	9.9%	9.9%	

D 育児休業・介護休業について

(1) 育児休業制度・介護休業制度の有無

(1) あなたの職場に育児休業制度・介護休業制度があることを知っていますか。【○は1つ】

(a) 育児休業制度の有無の認知度

育児休業制度の有無の認知度については、「知っている」が 70.6%と最も高く、次いで「わからない」が 20.9%、「知らない」が 8.5%の順となっている。

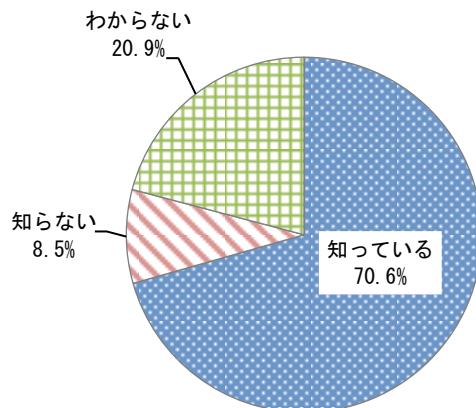
性別でみると、「知っている」について〈男性〉では 69.1%、〈女性〉では 71.7%とともに約 7 割となっている。

性別・年代別でみると、「知っている」について〈男性〉ではすべての層で 5～8 割台、〈女性〉では 20～69 歳の層で 5～8 割台となっている。

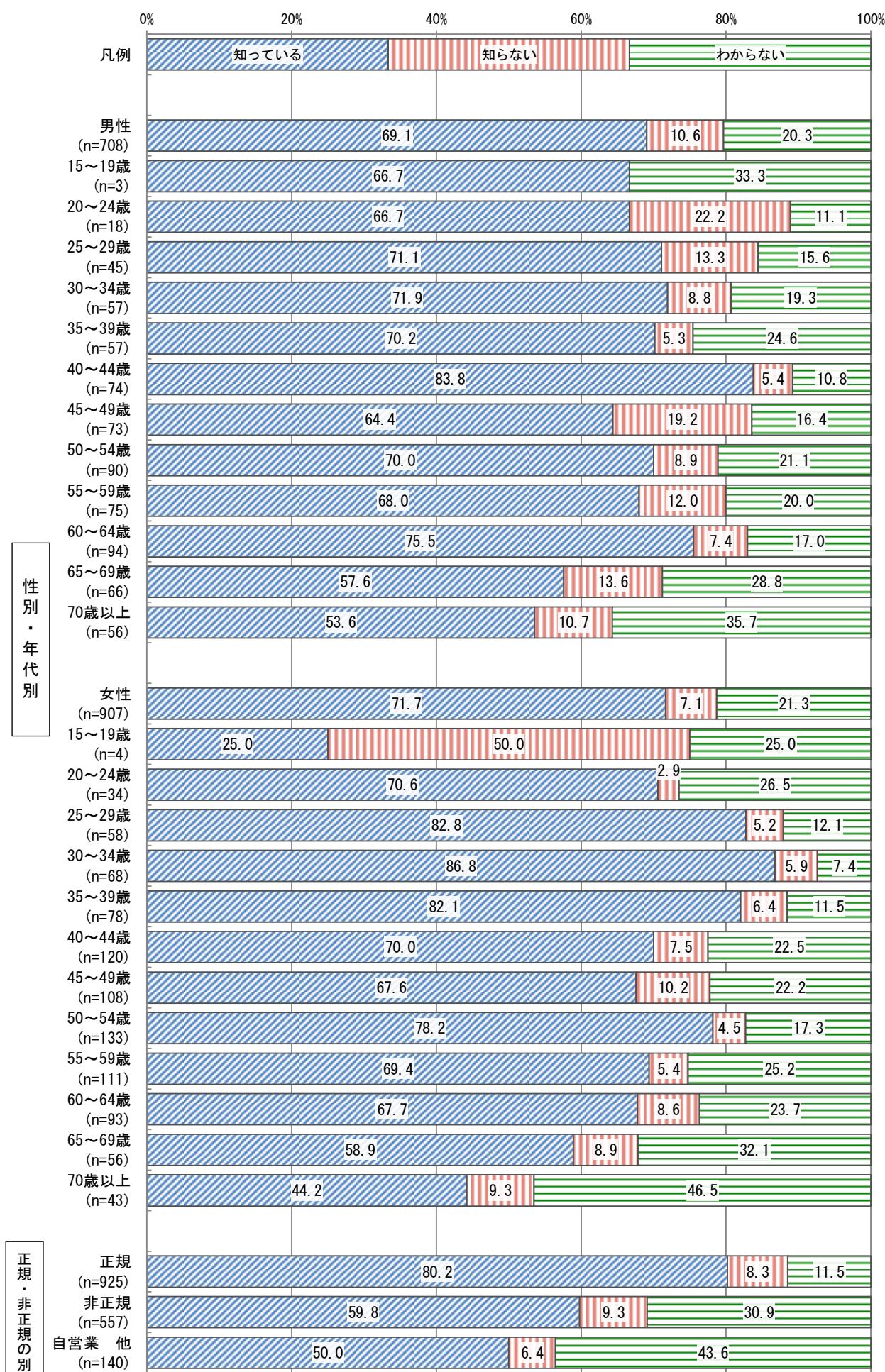
正規・非正規の別でみると、すべての層で「知っている」が最も高くなっている。

特に、〈正規〉では「知っている」が 80.2%と他の層より 20 ポイント以上高くなっている。

■育児休業制度の有無の認知度 [回答数 = 1,632]



【性別・年代別／正規・非正規の別（育児休業制度の有無の認知度）】



(b) 介護休業制度の有無の認知度

介護休業制度の有無の認知度については、「知っている」が 55.2%と最も高く、次いで「わからない」が 28.3%、「知らない」が 16.5%の順となっている。

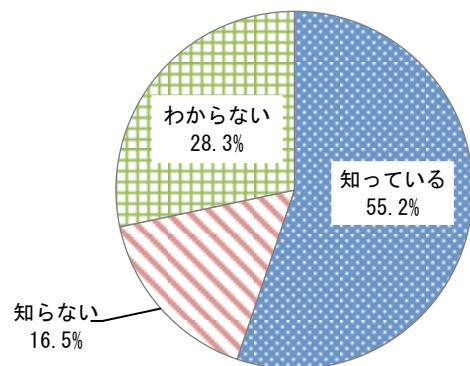
性別でみると、大きな差はみられない。

性別・年代別でみると、〈男性〉の〈40～44 歳〉の層では「知っている」が 74.3%と他の層より 7 ポイント以上高くなっている。

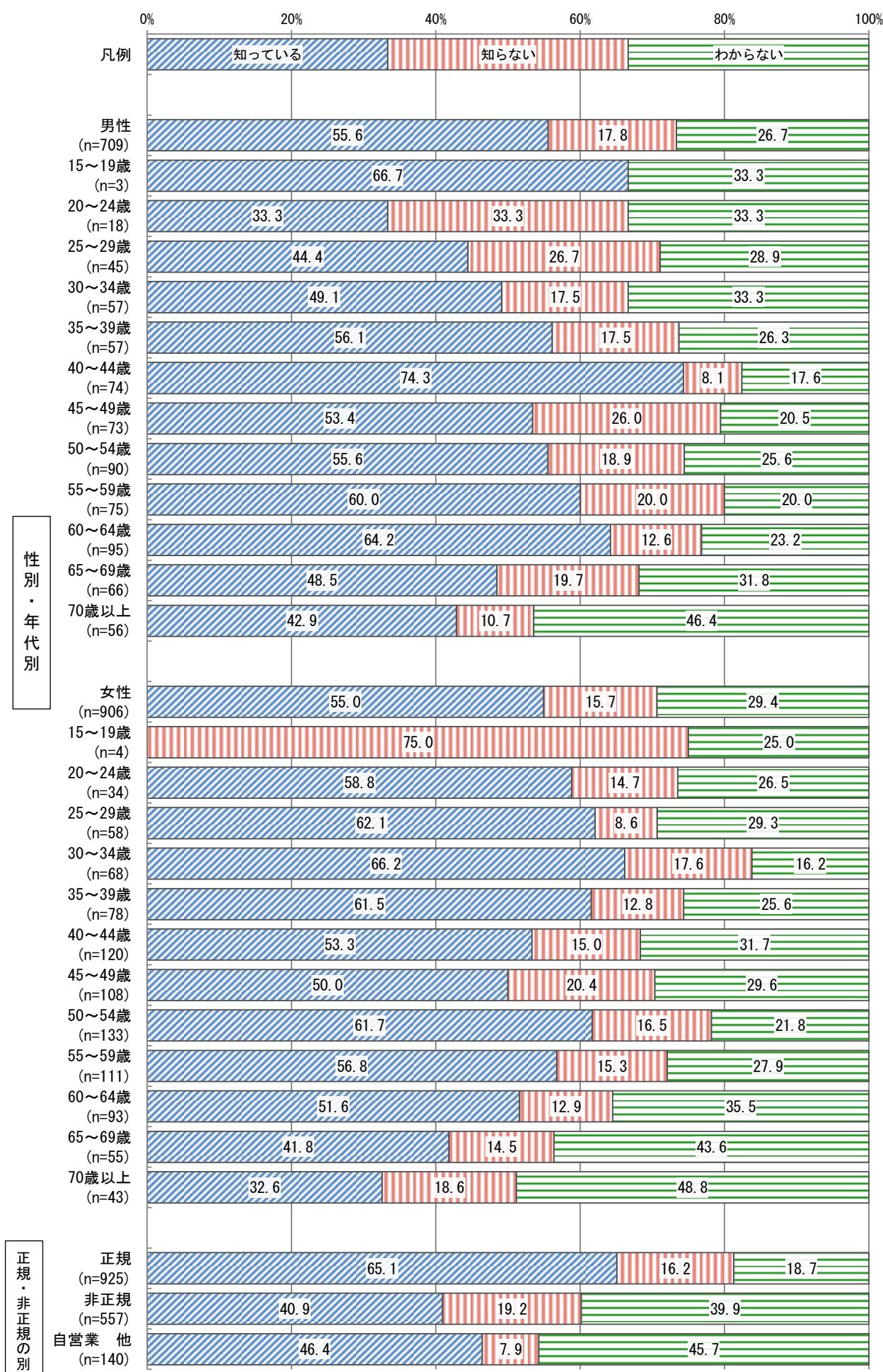
正規・非正規の別でみると、すべての層で「知っている」が最も高くなっている。

特に、〈正規〉では「知っている」が 65.1%と他の層より 18 ポイント以上高くなっている。

■介護休業制度の有無の認知度 [回答数=1,632]



【性別・年代別／正規・非正規の別（介護休業制度の有無の認知度）】



(2) 育児休業・介護休業の取得しやすさ

(2) あなたの職場は育児休業・介護休業が取りやすい職場だと思いますか。【○は1つ】

(a) 育児休業の取得しやすさ

育児休業の取得しやすさについては、「取りやすい」が 56.4%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」が 29.8%、「取りにくい」が 13.8%の順となっている。

前回調査との比較では「取りやすい」が 6.3 ポイント減少、「どちらとも言えない」が 6.2 ポイント増加している。

性別でみると、〈女性〉は〈男性〉より「取りやすい」が 18.0 ポイント高くなっている。

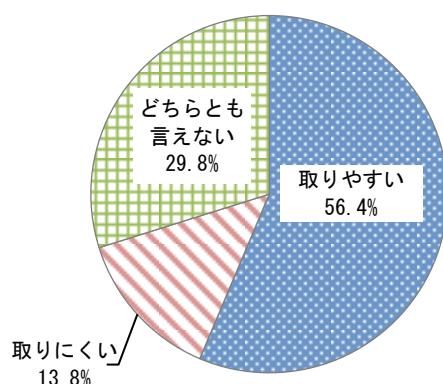
また、〈女性〉は〈男性〉より「取りにくい」が 11.5 ポイント、「どちらとも言えない」が 6.6 ポイント低くなっている。

性別・年代別でみると、サンプル数が限られるが、〈男性〉の〈15～19 歳〉と〈40～44 歳〉の層で「取りにくい」が他の層より 10 ポイント以上高くなっている。

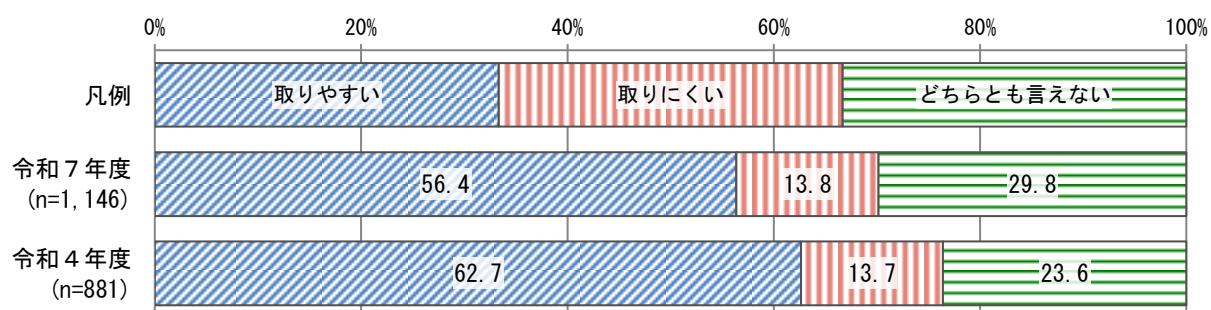
正規・非正規の別でみると、すべての層で「取りやすい」が最も高くなっている。

また、〈正規〉では「取りにくい」が 16.2%と他の層より 7 ポイント以上、〈自営業 他〉では「どちらとも言えない」が 40.6%と他の層より 9 ポイント以上、それぞれ高くなっている。

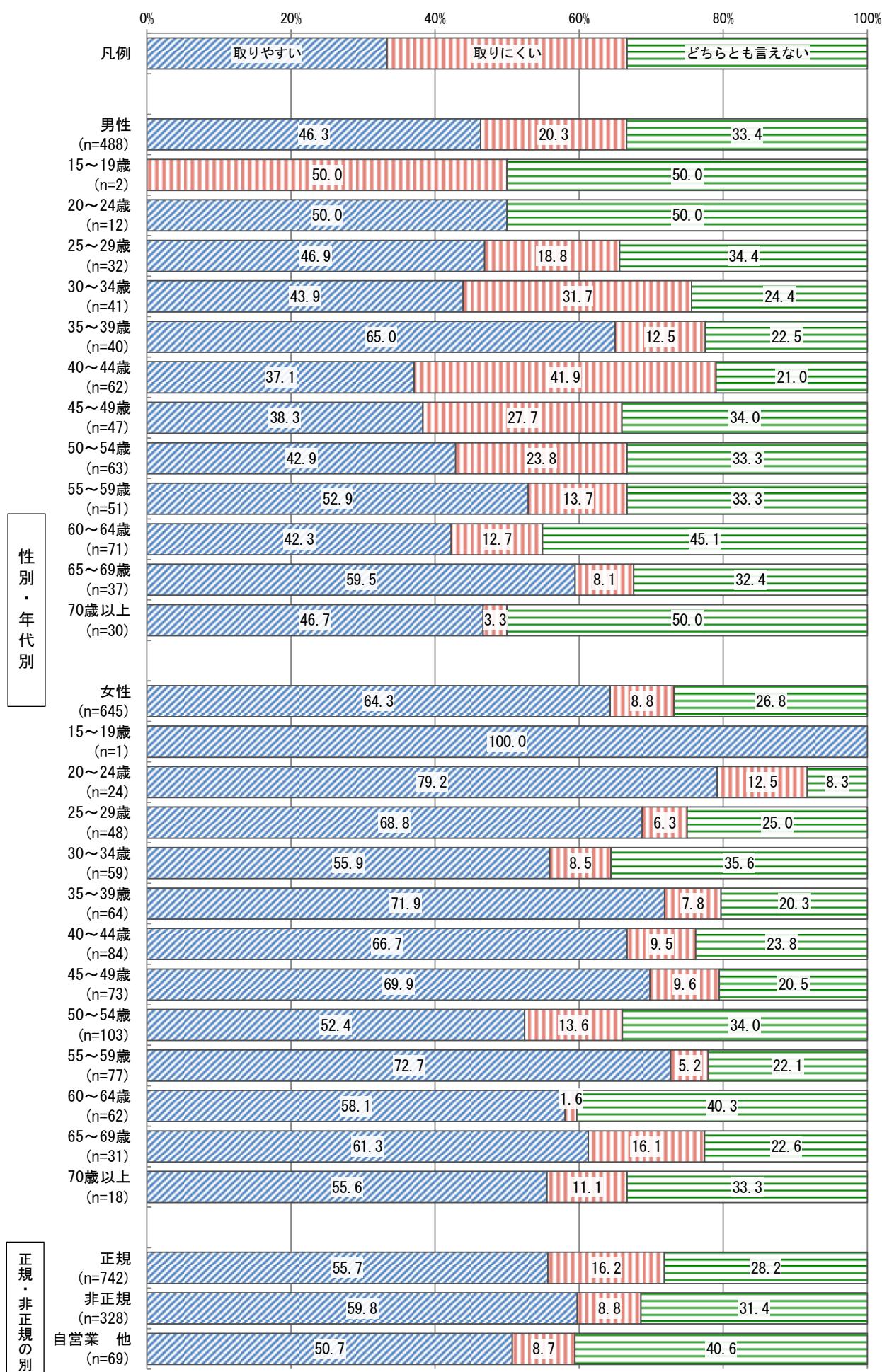
■育児休業の取得しやすさ [回答数 = 1,146]



【前回調査との比較】



【性別・年代別／正規・非正規の別（育児休業の取得しやすさ）】



(b) 介護休業制度の取得しやすさ

介護休業制度の取得しやすさについては、「取りやすい」が46.5%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」が35.4%、「取りにくい」が18.0%の順となっている。

前回調査との比較では、大きな変化は見られない。

性別でみると、〈男性〉は〈女性〉より「取りにくい」が5.2ポイント高くなっている。

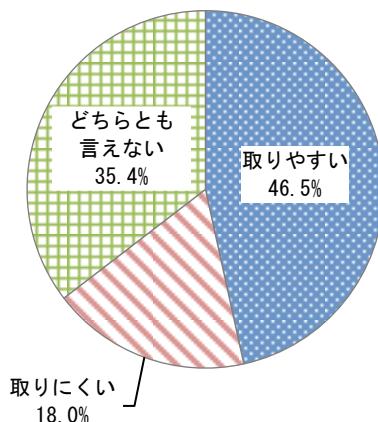
また、〈女性〉は〈男性〉より「取りやすい」が5.7ポイント高くなっている。

性別・年代別でみると、〈男性〉の25~34歳と40~49歳の層で「取りにくい」が3割台と他の層と比較して高くなっている。

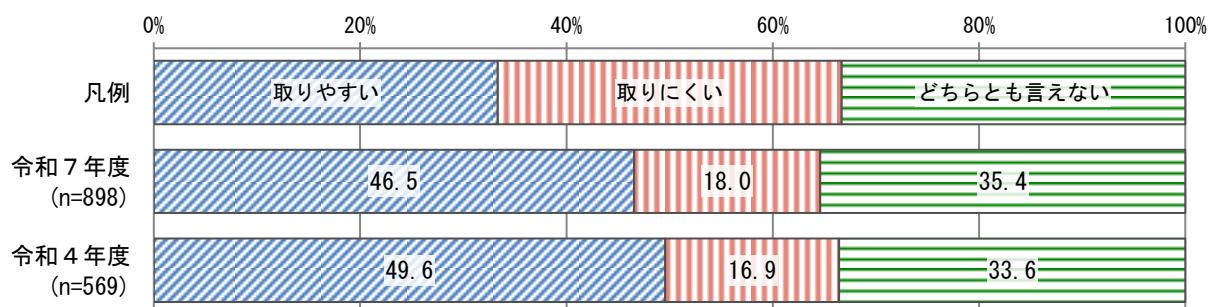
正規・非正規の別でみると、すべての層で「取りやすい」が最も高くなっている。

また、〈正規〉では「取りにくい」が21.6%と他の層より11ポイント以上、〈非正規〉では「取りやすい」が55.8%と他の層より8ポイント以上、〈自営業 他〉では「どちらとも言えない」が43.8%と他の層より8ポイント以上、それぞれ高くなっている。

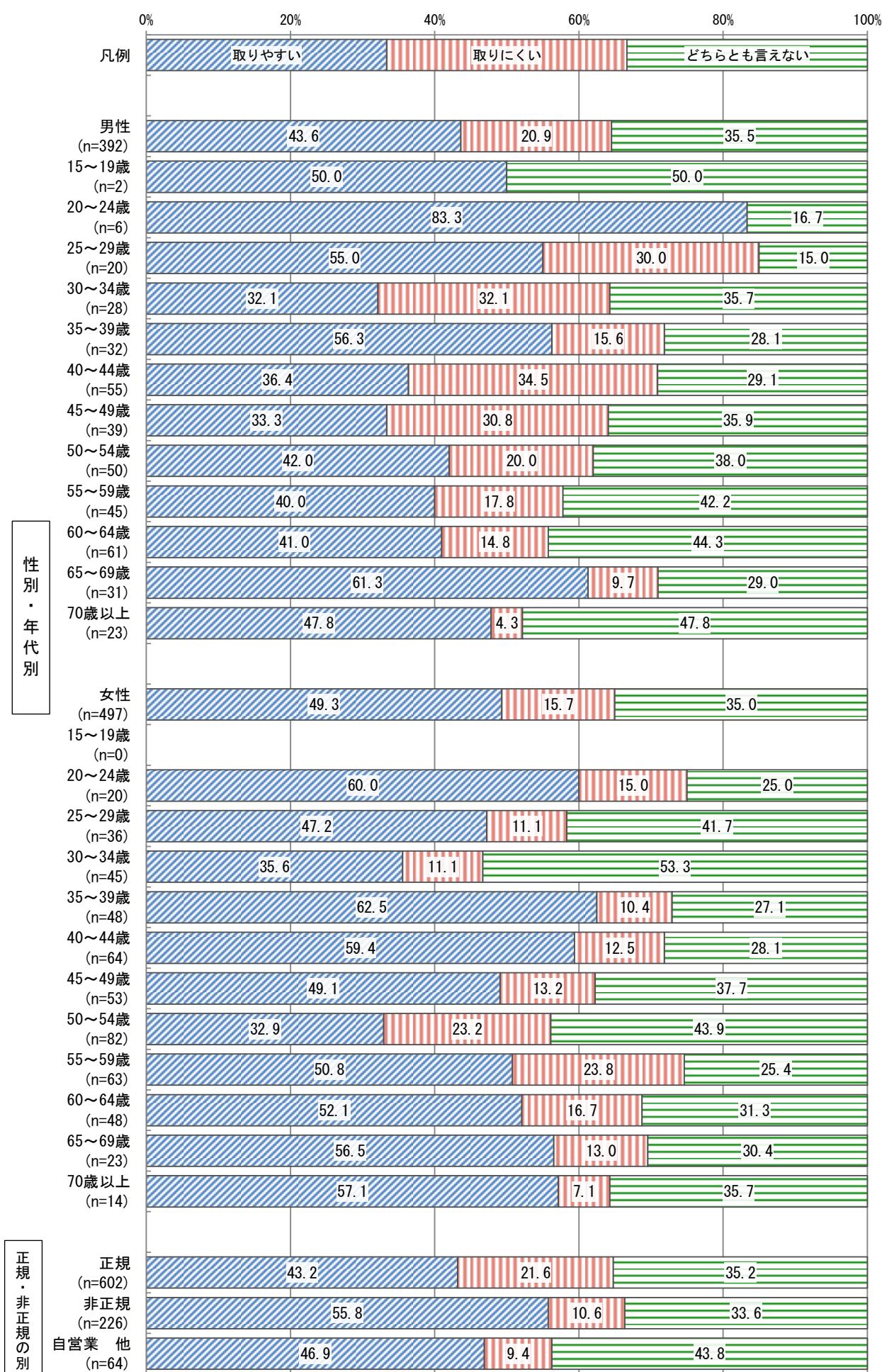
■介護休業の取得しやすさ [回答数=898]



【前回調査との比較】



【性別・年代別／正規・非正規の別（介護休業制度の取得しやすさ）】



(3) 育児休業・介護休業が取りにくいと思われる要因

(3) 育児休業または介護休業が「取りにくい」と思う一番の要因は何ですか。【○は1つ】

育児休業・介護休業が取りにくいと思われる要因については、「人員体制が十分でないから」が 75.1%と最も高く、次いで「上司・職場の理解が得られないから」が 10.0%、「職場に取得した前例がないから」が 7.2%の順となっている。

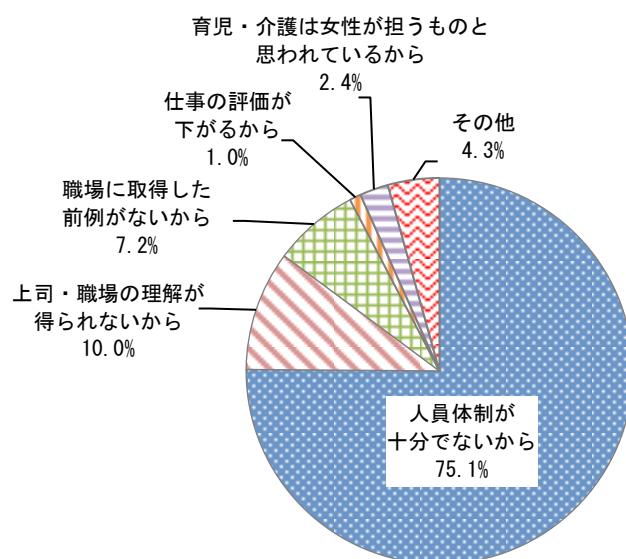
前回調査との比較では、「人員体制が十分でないから」が 75.1%と 17.3 ポイント増加、「職場に取得した前例がないから」が 7.2%と 17.2 ポイント減少している。

性別でみると、〈男性〉〈女性〉ともに「人員体制が十分でないから」が最も高くなっている。

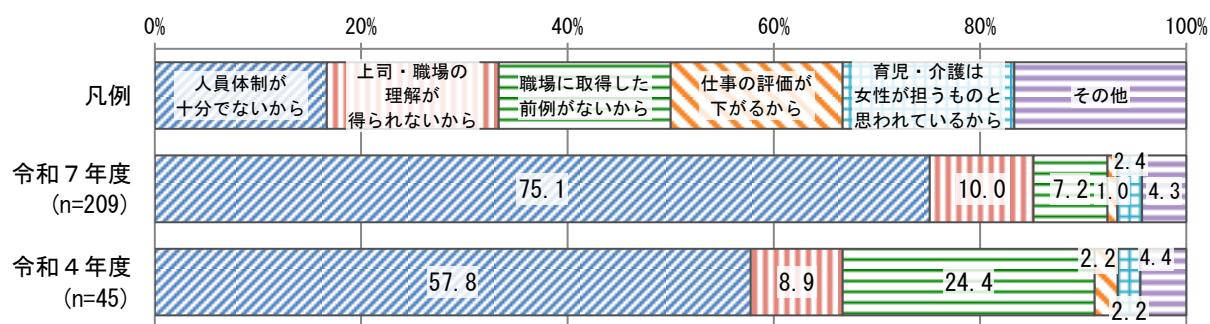
性別・年代別でみると、サンプル数が限られるが、〈男性〉の〈70歳以上〉を除くすべての層で「人員体制が十分でないから」が最も高くなっている。

正規・非正規の別でみると、サンプル数が限られるもののすべての層で「人員体制が十分でないから」が最も高くなっている。

■育児休業・介護休業が取りにくいと思われる要因 [回答数=209]



【前回調査との比較】



【性別・年代別／正規・非正規の別（育児休業・介護休業が取りにくいと思われる要因）】

